

TOTO®

保証書

この保証書は、保証書の記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
お取付日から下記期間中に故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、お取付店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターTEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02に修理をご依頼ください。

お客様 お名前 様	お取付店名 TEL - -	
	お取付日 年 月 日	
品番	ネオレストAH1・AH2 CES9783型 CES9793型	
保証期間	便器部 お取付日から 2カ年	ウォシュレット部 お取付日から 1カ年

★お客様へ

本書をお受け取りになるときに、お取付店名、扱者印、お取付日が記入されていることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お取付後の移設などに起因する故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害やガス害(硫化水素ガス)、塩害、異常電圧による故障及び損傷
 - 寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 指定以外の電源(電圧、周波数)、指定以外の水質による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
 - ゴミかみによる不具合
 - 乾電池などの消耗による不具合
 - 日常のお手入れ箇所(水抜栓やフィルターなど)のOリングやパッキンの摩耗劣化による不具合
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

＜部品交換について＞

無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

※ 本書は上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、TOTO(株)お客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにお問い合わせください。

商品のお問い合わせはTOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎0120-03-1010

FAX ☎0120-09-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理についてのご用命は
TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

TEL ☎0120-1010-05

FAX ☎0120-1010-02

受付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
：上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理：年中無休(一部地域を除く)
営業時間：9:00～18:00

補修部品のご購入は
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎0120-8282-55

FAX ☎0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

TOTO

ウォシュレット®

ネオレスト ハイブリッドシリーズ AH1・AH2

スティックリモコン用

品番：CES9783型・CES9793型

取扱説明書 保証書付

有料で延長保証できます。(64ページ)
申込期間：ご使用開始日から1年間

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。



便利機能を楽しむ

使いこなし術

より清潔に、より長くお使いいただくための

お手入れ術

トイレ空間の疑問を解決

こんなときは

レストルームからはじまるすてきな毎日

NEOREST

HYBRID SERIES

NEOREST

AH type ①

TOTO株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

2009.6.15
D08161

●このたびはウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この説明書は保証書付です。必ず「お取付店名・お取付日など」の記入をお確かめのうえでお取付店からお受け取りになり、大切に保管してください。
●定期的に交換が必要な部品があります。お取付店にご確認ください。

もくじ

はじめに



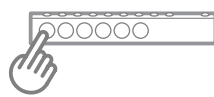
使いこなし術



お手入れ術*



設定



こんなときは



安全上のご注意	4	はじめに
使用上のご注意	7	
機能の紹介	8	
各部のなまえ	10	
はじめの設定一覧	13	
初めてお使いになるときの準備	14	使いこなし術
標準的な使いかた(おしりを洗う・かわかす)	16	
快適な機能	18	
温度を調節をする	18	
脱臭する	20	
脱臭	20	
パワー脱臭	20	
オートパワー脱臭	20	
便座・便ふたを開閉する	21	
リモコン開閉	21	
オート開閉	21	
便器の水を流す	22	
リモコン便器洗浄	22	
オート洗浄	22	
オートプレ洗浄	23	
やわらかな明かりで照らす	23	
やわらかライト	23	
トイレに香りをひろげる	24	
オートフレグランス	24	
トイレ室内を暖める	26	
室内暖房	26	
タイマー室内暖房	26	
冷込防止	28	
選べる節電	29	節電
時間帯を指定して節電する	30	
タイマー節電	30	
自動で節電する	32	
おまかせ節電	32	
お手入れのしかた	34	お手入れ
便器のお手入れ	37	
ウォシュレット本体、便座・便ふたのお手入れ	39	
洗浄の水勢が弱くなったと感じたら	43	
設定を変えたいときは	46	設定
便ふたを自動で開閉する／しない	46	
自動で便器洗浄する／しない	46	
自動で標準の脱臭をする／しない	47	
自動でパワー脱臭する／しない	47	
お好みの水勢・洗浄位置のままにする／しない	48	
停電・断水のときは	49	こんなときは
リモコンで操作できないときは	49	
冬場の凍結を防ぐには	50	
トイレを長期間使わないとき	54	
脱臭が弱くなったら	56	
故障かな!?と思ったら	57	
アフターサービス	64	裏表紙
仕様	65	
交換部品・別売品	66	
保証書	裏表紙	



ハイブリッドエコロジーシステム

水道から直接流れる水と、内蔵タンクから加圧されて流れる水によって、少ない水量でパワフルに洗浄。

トルネード洗浄

渦を巻くような水流が、ボウル面をまんべんなく旋回、少ない水でしつこい汚れもきれいに洗い流します。



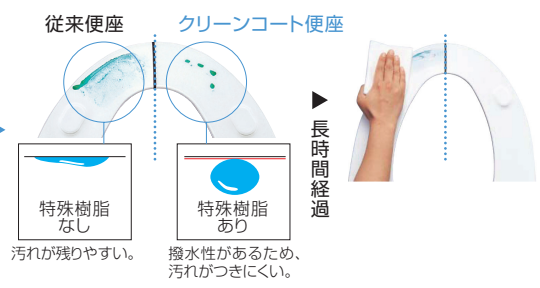
フチなし形状

今までお手入れしづらかった、便器のフチをなくしています。なめらかなカタチなので力を強く加えることなく、汚れをサッとふき取れます。



クリーンコート便座

便座の裏側は、汚れをはじく効果の高い特殊樹脂加工を施しました。汚れがつきにくく、ついたシミや汚れも軽くサッとふき取れます。



よくある問い合わせ

停電・断水のときは 49ページ

リモコンで操作できないときは ... 49ページ

電池切れ予告ランプ(12ページ)が点滅したら乾電池を交換してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグや便座コードを破損するようなことはしない

傷つけない、加工しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、挟み込まない、加熱しない

- 傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。



禁止

ガタついているコンセントは使わない

- 火災や感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

- たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

指定する電源（交流100V）以外では使用しない

- 火災の原因になります。



禁止

給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない

- 結露などにより、火災や感電の原因になります。



必ず守る

電源プラグの刃などに付いたほごりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

- 火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、かわいた布でふいてください。



アース接続

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

- アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



必ず守る

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

- コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



プラグ抜き励行

お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 感電の原因になります。
※「ノズルそうじスイッチ」「便器そうじスイッチ」機能使用時は除く

絵表示の例と意味



は、してはいけない「**禁止**」の内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。
左図は、「必ず守る」を示します。



必ず守る

低温やけどに注意する

- ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
- 次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」、乾燥の温度調節を「低」にしてください。

・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方



水場使用禁止



水かけ禁止



分解禁止



禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない

- 火災や感電の原因になります。

ウォシュレット本体や電源プラグに水やお湯、洗剤をかけない

- 火災や感電の原因になります。
- 便器が割れて、けがや室内浸水の原因になります。

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

- 火災や感電の原因になります。

故障したままでウォシュレットを使いつづけない

- 次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

故障とは…

- ・配管や製品から水漏れしている
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品から煙がでている
- ・製品が異常に熱い
- ・便器が詰まっている

- 故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。

アフターサービスは64ページ



禁止

車輻・船舶など、移動体への設置はしない

- 火災や感電、故障などの原因になります。
- 便座・便ふたなどがはすれて落下し、けがをする原因になります。



必ず守る

逆流防止装置（バキュームブレーカー、リング）は水の安全を確保するために定期的な点検を行う

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー、リング）が正常に機能しないと、状況によっては一度吐き出した水が逆流する原因になります。

定期点検情報は64ページ



禁止

水道水および飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない

- 皮膚の炎症などを起こす原因になります。

⚠ 注意



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。



禁止

プラスチック部分（ウォシュレット本体など）のお手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない （トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー及びナイロンたわし など）

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。



禁止

温風吹出口に指やものを入れたり、吹出口付近に近づかない

吹出口にものを置かない、手を置かない、衣服をかぶせない

- やけど、感電、焼損の原因になります。
- お子様やお年寄りが使用されるときは、十分注意してください。



禁止

強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない

- 割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
- 便器が破損して、室内浸水の原因になります。



必ず守る

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

- 安全のために電源プラグを抜いてください。
- 再使用するとき、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になりますので、再通水してご使用ください。

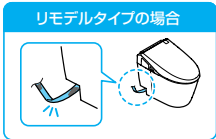
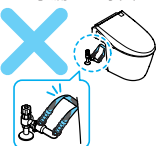
再通水のしかたは55ページ



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止

止水栓を開けたままで、給水フィルター・給水フィルター付水抜栓をはずさない

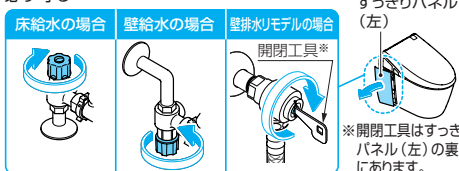
- 水が噴き出します。

給水フィルターのお手入れは43～45ページ



必ず守る

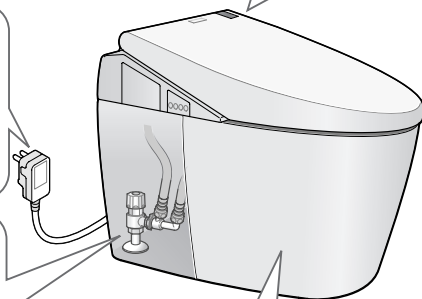
水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



必ず守る

給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

- 確実に締めないとき水漏れの原因になります。



禁止

便器には汚物・トイレペーパー以外のものは流さない

- 便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。



必ず守る

便器が詰まった場合は、電源プラグを抜き、市販の吸引器（ラバーカップ）で詰まりを除去する

- 電源プラグを抜かないとオート洗浄がはたらき、汚水があふれて室内浸水の原因になります。



必ず守る

凍結による破損の予防を行う

- 凍結すると給水配管やウォシュレット本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。

凍結による破損の予防は50ページ



必ず守る

室内暖房吹出口から15cm以上の空間を確保する

- 温風により壁面の変色などの原因になります。



使用上のご注意

次のことをお守りください。

傷つきや破損を防ぐために！

ウォシュレット本体、便座、便ふたなどプラスチック部分はかわいた布やトイレペーパーなどでふかない

お手入れのしかたは34ページ

水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。



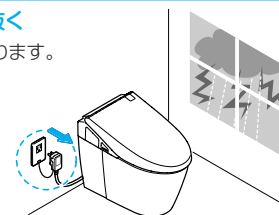
便ふたに寄りかからない



雷が発生しているときは…

電源プラグを抜く

故障の原因になります。



故障を防ぐために！

ウォシュレット本体やノズルに小便がかからないようにする



誤作動などを防ぐために！

着座センサー、人体検知センサーおよびリモコン送信部・受信部をおおわない

ウォシュレットが誤作動する原因になります。小さなお子様などが使用される場合は、センサーが検知されにくいことがあります。



② 着座センサーとは…

- 着座センサーは、人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは図のように赤外線が出ています。
- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなる場合があります。（57～63ページ）



② 人体検知センサーとは…

人体検知センサーは2種類あります。

- 人体検知センサーAは熱の変化を検知するものです。
 - 夏場など室温が30℃を超えると検知しにくい場合があります。
 - 太陽光が直接センサー部に当たったり、トイレ室内に暖房機器があると熱でセンサーが誤検知し、便ふたが自動で開く場合があります。
 - トイレのドアが開いている場合にトイレの前を通過する人を検知する場合があります。

- 人体検知センサーBは人が便器の前に立っていることを検知するものです。
- 人体検知センサーBからは図のように赤外線が出ています。この赤外線の方向線上に人がくると検知します。



直射日光が当たらないようにする

変色や暖房便座の温度ムラが生じたり、リモコンでの作動不良や、温度の変化でウォシュレットが誤作動する原因になります。

ラジオなどはウォシュレットから離して使う

ラジオに雑音が入ることがあります。

便座の上に幼児用補助便座・やわらか補高便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずす

一部の機能が使用できなくなることがあります。

機能の紹介

AH1：便ふたの裏にAH1と記載しています。
AH2：便ふたの裏にAH2/AH3と記載しています。

洗 浄 機 能	AH1	AH2	参照 ページ
ワンダーウェーブ おしり洗 浄	●	●	16・17
ワンダーウェーブ やわらか洗 浄	●	●	16・17
ワンダーウェーブ ビデ洗 浄	●	●	16・17
洗 浄 位 置 調 節	●	●	16
水 勢 調 節	●	●	16
ム ー ブ 洗 浄	●	●	16・17
マ ッ サ ー ジ 洗 浄	●	●	16・17

快 適 機 能	AH1	AH2	参照 ページ
暖 房 便 座	●	●	—
温 風 乾 燥	●	●	16
温 度 調 節	●	●	18・19
脱 臭	●	●	20
パ ワ ー 脱 臭	●	●	20
オートパワー脱臭	●	●	20
リ モ コ ン	●	●	12
着 座 セ ン サ ー	●	●	7
リモコン便座・ 便 ふ た 開 閉	●	●	21
オ ー ト 開 閉	●	●	21
リモコン便器洗 浄	●	●	22
オ ー ト 洗 浄	●	●	22
室 内 暖 房	—	●	26
タイマー室内暖房	—	●	27

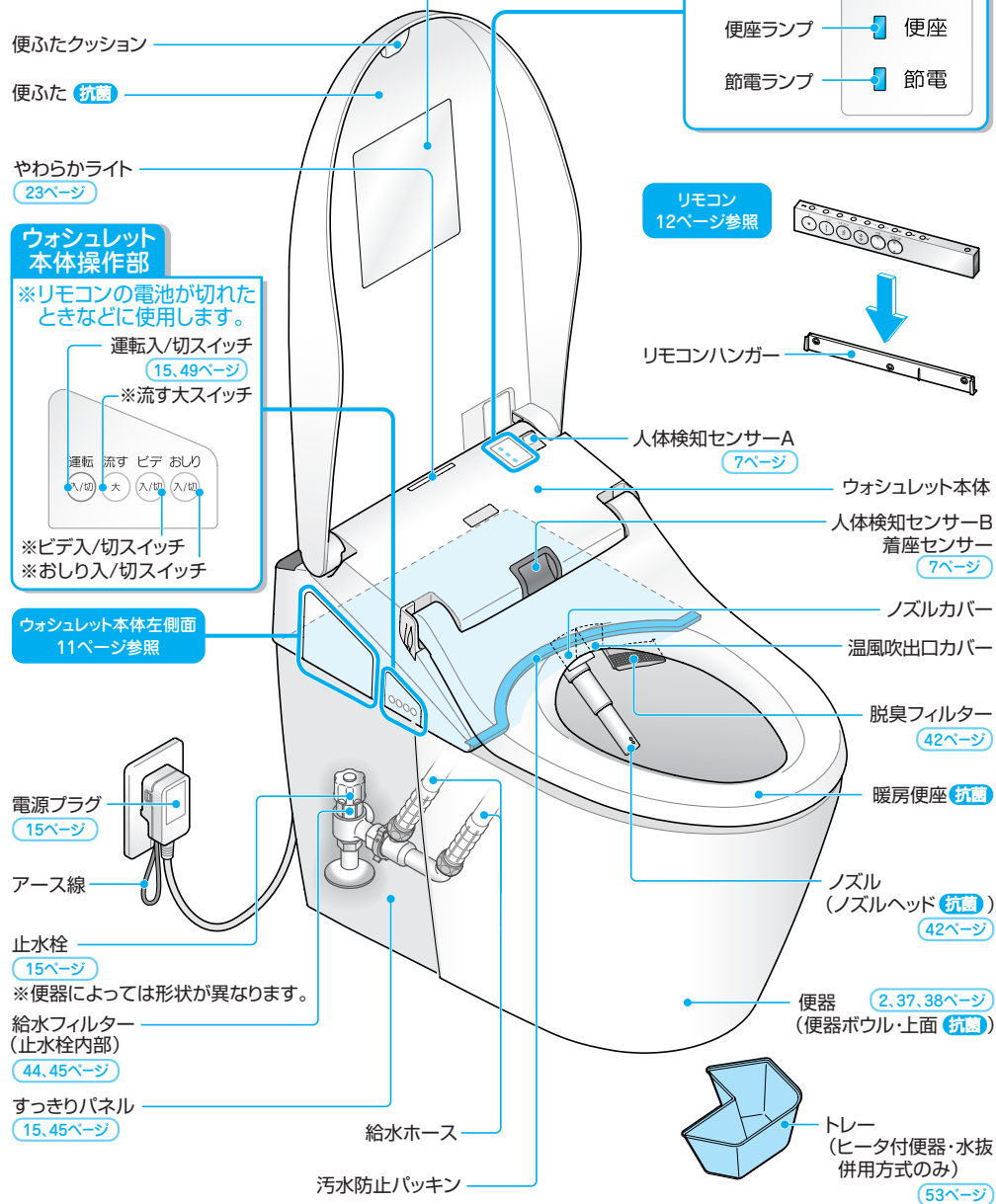
快 適 機 能	AH1	AH2	参照 ページ
冷 込 防 止	—	●	28
オートフレグランス	—	●	24・25
やわらかライト	●	●	23

節 電 機 能	AH1	AH2	参照 ページ
タ イ マ ー 節 電	●	●	30・31
お ま か せ 節 電	●	●	32
運転入/切スイッチ	●	●	10

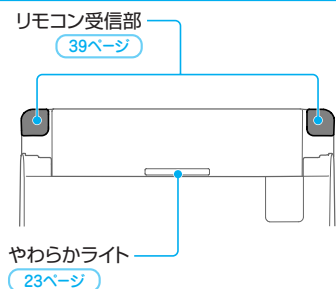
清 潔 機 能	AH1	AH2	参照 ページ
便座・便ふた着脱	●	●	40・41
抗 菌	●	●	10・65
セルフクリーニング	●	●	—
ノズルまるごと洗 浄	●	●	—
クリーンコートノズル	●	●	39
ノズルそうじスイッチ	●	●	42
便 器 そ う じ	●	●	38
ラクしてキレイ便器	●	●	—
汚水防止パッキン	●	●	10
オートプレ洗 浄	●	●	23
クリーンコート便座	●	●	2

各部のなまえ

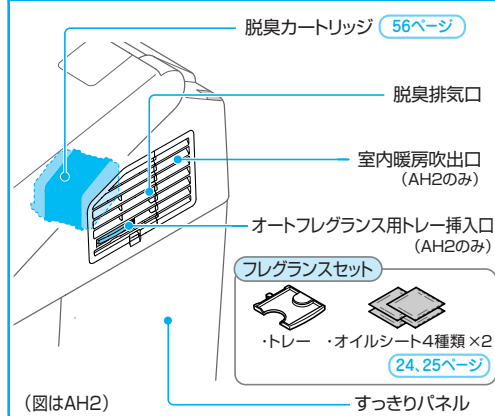
製品の品番・種類を記載しています。



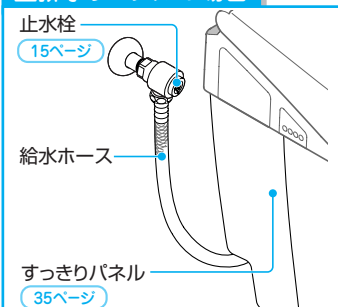
ウォシュレット本体上面



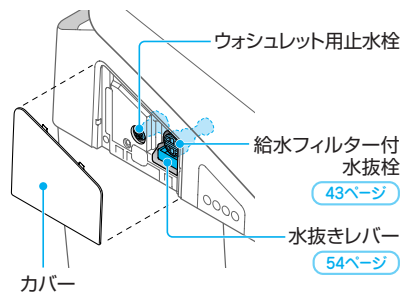
ウォシュレット本体右側面



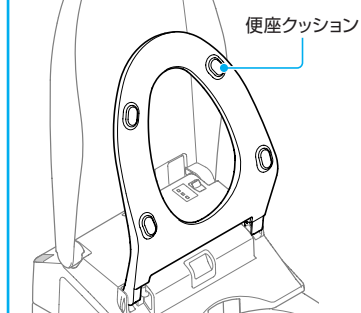
壁排水リモデルの場合



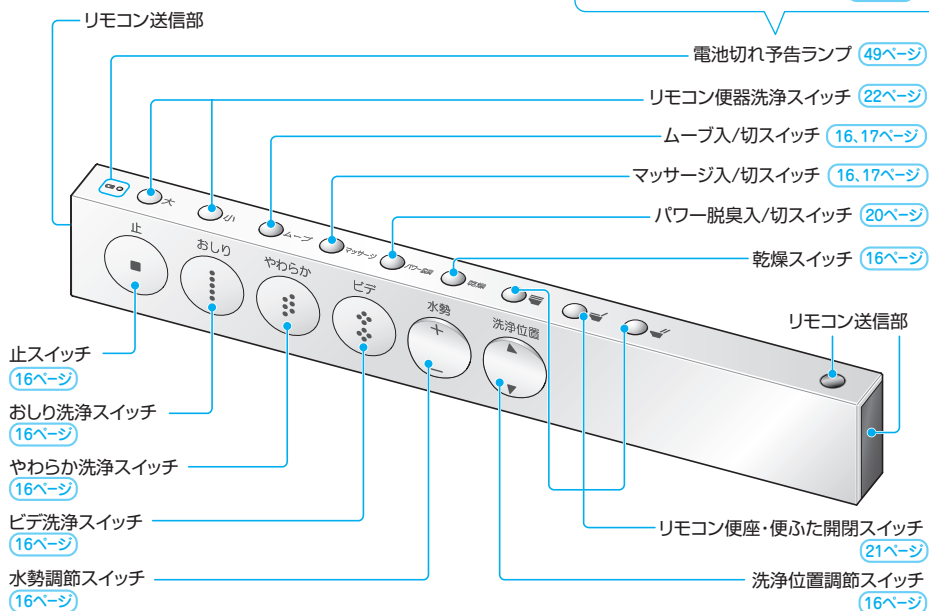
ウォシュレット本体左側面



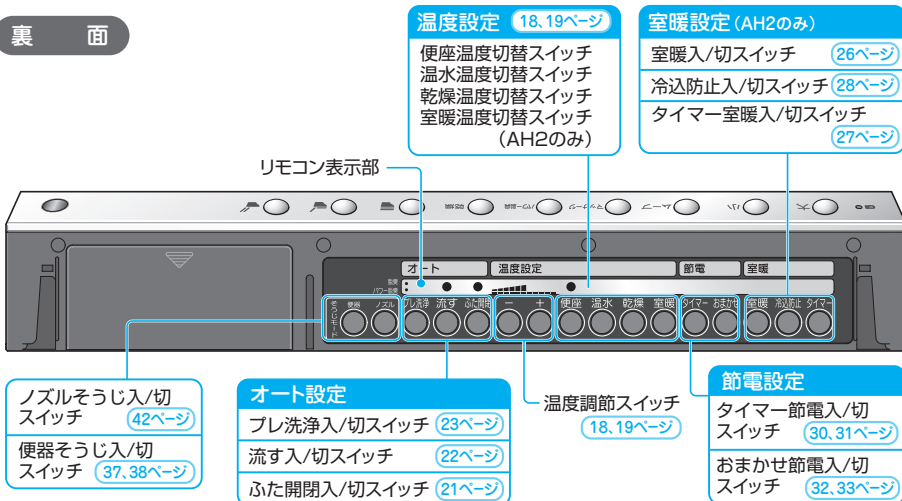
便座裏面



表面



裏面



電子音について

- リモコンのスイッチを押してウォシュレット本体が受け付けると電子音が鳴ります。電子音には3種類あります。

- ピッ** ……スイッチを押してウォシュレット本体が受け付けたとき
- ピーッ** ……「止」スイッチを押したときや、各機能(節電・ムーブなど)を「切」にしたとき
- ビビッ** ……温度調節スイッチを押して「高」位置にしたとき

はじめの設定一覧

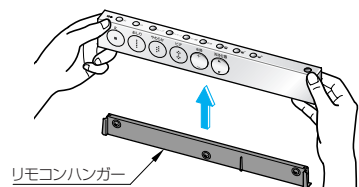
各機能の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

機能	はじめの設定	お好みで変更できる設定	AH1	AH2	参照ページ
温水温度入		温度設定 便座 温水 乾燥 室温 スイッチを押し、 スイッチで、温度の調節ができます。	●	●	18・19
便座温度入			●	●	
乾燥温度入			●	●	
室内暖房温度切			—	●	
脱臭(標準の脱臭)	入	標準の脱臭の「入」「切」を設定できます。	●	●	20・47
オートパワー脱臭	入	オートパワー脱臭の「入」「切」を設定できます。	●	●	20・47
パワー脱臭	切	パワー脱臭の「入」「切」を設定できます。	●	●	20
オート開閉	便ふたが自動で閉まる時間：約90秒	オート開閉の「入」「切」を設定できます。	●	●	21・46
オート洗浄		オート洗浄の「入」「切」を設定できます。	●	●	22・46
オートプレ洗浄	切	オートプレ洗浄の「入」「切」を設定できます。	●	●	23
室内暖房	切	室内暖房の「入」「切」を設定できます。	—	●	26
タイマー室内暖房	切	タイマー室内暖房の「入」「切」を設定できます。 室内暖房時間を変更できます。	—	●	27 27
冷込防止	切	冷込防止の「入」「切」を設定できます。	—	●	28
タイマー節電	切	タイマー節電の「入」「切」を設定できます。 節電時間を変更できます。	●	●	30・31 30・31
おまかせ節電	切	おまかせ節電の「入」「切」を設定できます。 タイマー節電(おまかせ節電)の2つを同時に使うことができます。	●	●	32 33

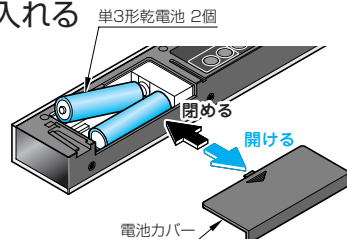
初めてお使いになるときの準備

1: リモコンに乾電池を入れる

- 1 リモコンをリモコンハンガーからはずす



- 2 リモコン裏面の電池カバーを開け、単3形乾電池2個を正しく入れる



- 3 電池カバーを閉める

ここで確認! リモコン表示部

乾電池を正しくセットすると、リモコン裏面の表示部には図のように表示されます。



- 3 リモコンをリモコンハンガーに取り付ける

ご注意

■乾電池について

乾電池はアルカリ乾電池をご使用ください。乾電池の破裂や液漏れを防ぐために次のことをお守りください。

- ・交換するときは、同じ銘柄の新しい乾電池を使用する。
- ・リモコンを長期間使用しないときは、取り出しておく。
- ・充電式の電池は使用しない。

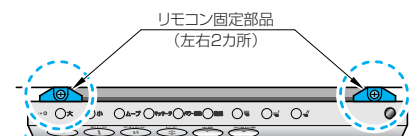
盗難防止のためリモコンを固定している場合は…

- 固定部品のねじをゆるめて、リモコンをはずしてください。元に戻すときは、ねじが止まるまで締めて固定してください。

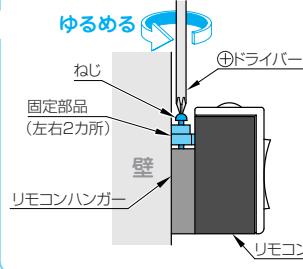
※⊕ドライバーは、先端が細めのタイプ(ビットサイズ: No.1または精密ドライバー)を使用してください。

※元に戻すときは、ねじが止まった後もさらに締め付けると、リモコンハンガーなどが破損するおそれがあります。

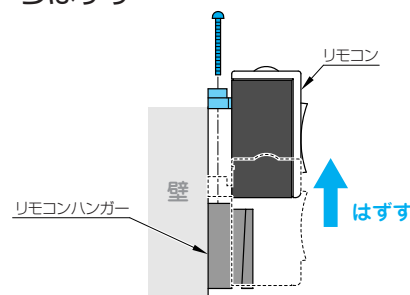
- 1 固定部品のねじ(左右2カ所)を⊕ドライバーでゆるめる



真横から見た図

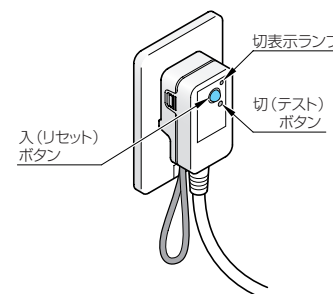


- 2 リモコンをリモコンハンガーからはずす



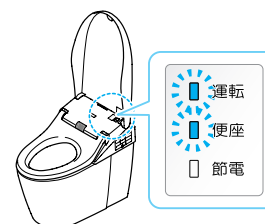
2: 電源を入れて準備する

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む
- 2 切表示ランプが消灯していることを確認する



- 切表示ランプが点灯しているときは、「入(リセット)」ボタンを押すと消灯します。

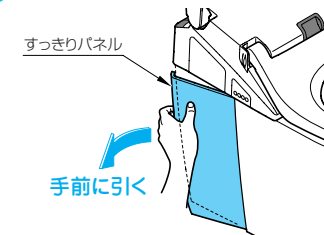
- 3 ウォシュレット本体表示部のランプを確認する



- 「運転」ランプが点灯していないと全機能が使用できません。(節電中は除きます。)
- 「運転」ランプが点灯していない場合は、ウォシュレット本体操作部の「運転」ボタンを押してください。

3: 止水栓を開ける

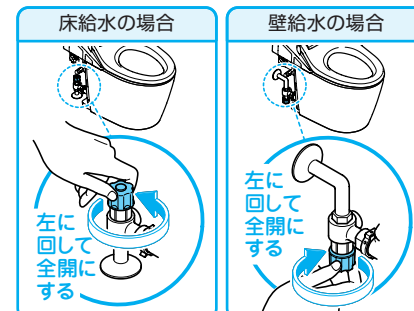
- 1 すっきりパネルを取りはずす



- すっきりパネルの後ろ側を手で持ち、手前に引いて取りはずしてください。

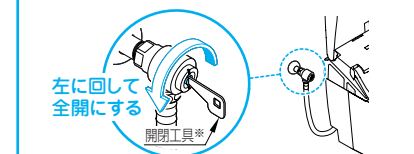
- 2 止水栓を全開にする

止水栓を矢印の方向に回してください。

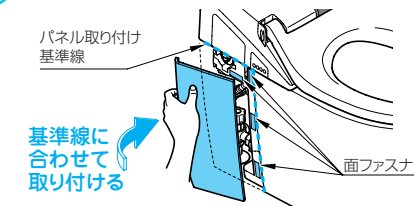


壁排水リモデルの場合

※開閉工具はすっきりパネル(左)の裏側にあります。

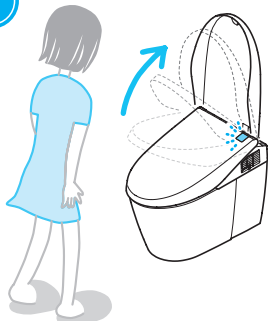


- 3 すっきりパネルを取り付ける



標準的な使いかた

①



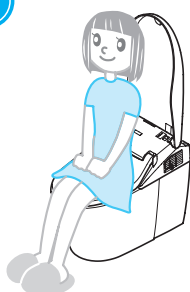
便器に近づく

↓
便ふたが自動で開きます。

便座・便ふたの開閉のしかた 21ページ

- オートフレグランスがはじまります。(AH2のみ)
- 脱臭がはじまります。

②

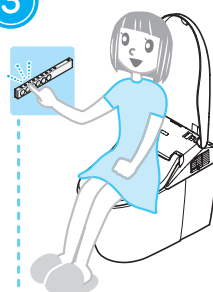


便座に座る

着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。

- 汚れが入らないように、温風吹出口カバーを開ける音がします。
- 快適にお湯を出す準備のため、ノズル付近から便器内に数秒間水が出ます。

③



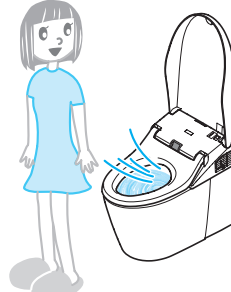
洗う・かわかす・止める

リモコンで操作します。

アドバイス

便座には深く腰掛けましょう！
洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

④



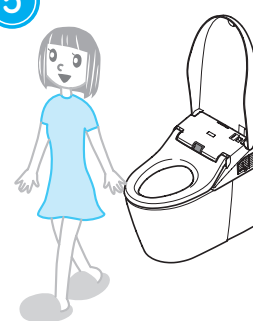
便座から立ち上がる

- オートパワー脱臭がはじまります。約1分後に止まります。
- ノズルが少し出た状態で水が約30秒出た後、戻ります※
その後、温風吹出口カバーが開閉します。
※毎回清潔にご使用いただくためにノズル内の残水を抜いています。

↓
約5秒後に自動で便器洗浄します。

水の流しかた 22ページ

⑤

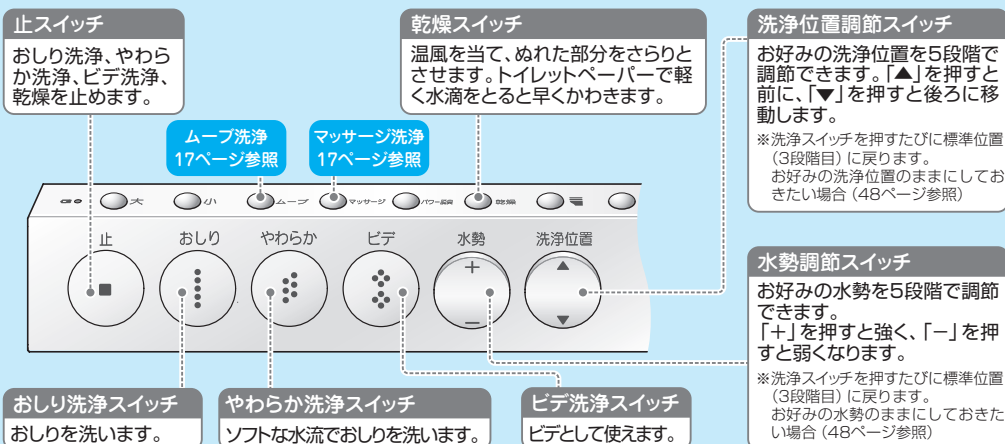


便器から離れる

↓
約90秒後に自動で便ふたが閉まります。

便座・便ふたの開閉のしかた 21ページ

リモコンでの操作



さらに快適な機能

ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

① おしり やわらか ビデ 使用するスイッチを押す

② ○ムーブを押す
ムーブ洗浄をします。

③ もう一度
○ムーブを押す
ムーブ洗浄をやめます。

マッサージ洗浄

強弱をつけた水勢で洗います。

① おしり やわらか ビデ 使用するスイッチを押す

② ○マッサージを押す
マッサージ洗浄をします。

③ もう一度
○マッサージを押す
マッサージ洗浄をやめます。

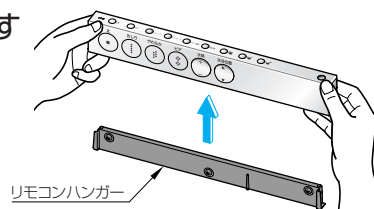
快適な機能

温度を調節する

温水、便座、乾燥、室内暖房(AH2)の温度はリモコンで調節できます。お好みの温度でご利用ください。

1 リモコンをリモコンハンガーからはずす

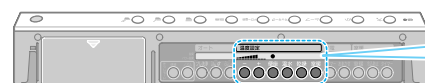
盗難防止のためリモコンを固定している場合は14ページ



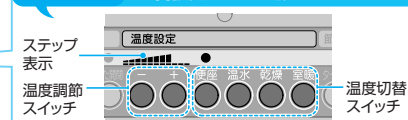
2 温度調節をする

- リモコン裏面の●●●●のうち、温度変更したいスイッチを押してください。

リモコン表示部に「●」が点灯され、現在設定されているステップが確認できます。



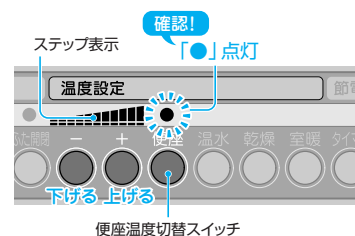
ここで確認! 温度設定スイッチ部



便座の温度設定

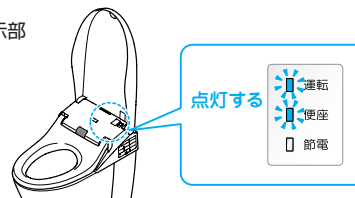
- を押す、●・●で適温に調節してください。
- 「切」にする場合は、温度表示が消えるまで●を押してください。
- 設定温度を5段階で調節できます。

リモコン裏面



ここで確認! ウォシュレット本体表示部

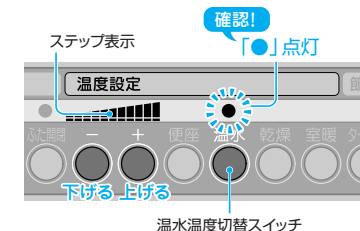
便座ヒータが「入」になるとウォシュレット本体表示部の「便座」ランプが点灯します。



温水の温度設定

- を押す、●・●で適温に調節してください。
- 「切」にする場合は、温度表示が消えるまで●を押してください。
- 設定温度を11段階で調節できます。

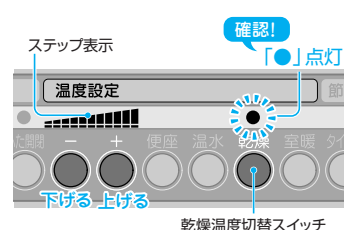
リモコン裏面



乾燥の温度設定

- を押す、●・●で適温に調節してください。
- 設定温度を5段階で調節できます。

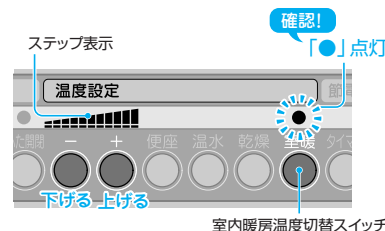
リモコン裏面



室内暖房の温度設定 (AH2のみ)

- を押す、●・●で適温に調節してください。
- 設定温度を5段階で調節できます。

リモコン裏面



脱臭する

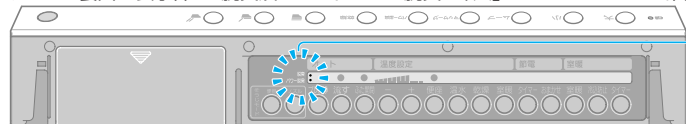
脱臭には (標準の脱臭) (パワー脱臭) (オートパワー脱臭) の3通りがあります。

標準の脱臭、オートパワー脱臭の使いかた

便座から立ち上がるとオートパワー脱臭がはたらいて、便器内のおいを取ります。

ここで確認! リモコン裏面

リモコン裏面の表示部で、脱臭及びオートパワー脱臭が「入」になっていることを確認してください。



確認!

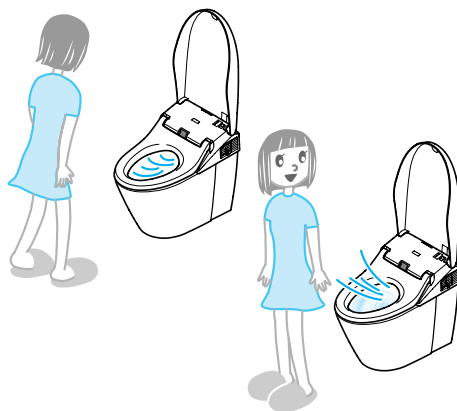
脱臭及びオートパワー脱臭が「入」のときは「●」が表示される

1 便器に近づく

標準の脱臭を始めます。

2 便座から立ち上がる

オートパワー脱臭を始めます。
約1分後に自動で止まります。



パワー脱臭の使いかた

便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のおいを取ります。

アドバイス ●パワー脱臭は便座に座らないとはたらきません。
いったん便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。

1 リモコンの ○パワー脱臭 を押す

パワー脱臭を始めます。

2 もう一度リモコンの ○パワー脱臭 を押す

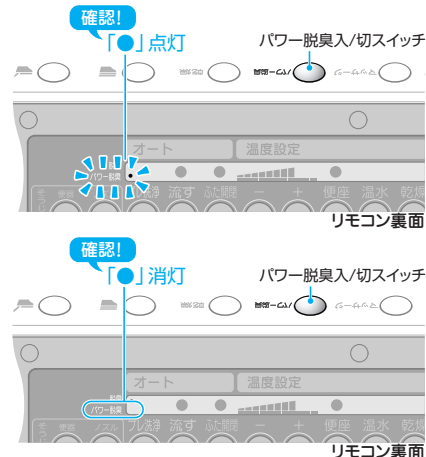
標準の脱臭に戻ります。

アドバイス

●○パワー脱臭を切らずに立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

標準の脱臭をやめる→47ページ

オートパワー脱臭をやめる→47ページ



便座・便ふたを開閉する

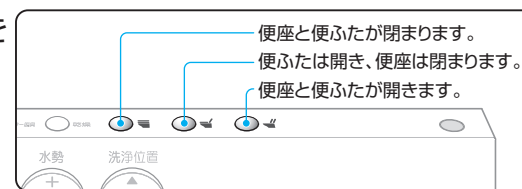
便座・便ふたの開閉は (リモコン開閉) (オート開閉) の2通りがあります。

リモコン便座・便ふた開閉の使いかた

リモコンのスイッチで便座・便ふたの開閉ができます。(オート開閉が「入」でもリモコンで開閉できます。)

リモコンの ○開閉 を押す

便座・便ふたが開閉します。



オート開閉の使いかた

便器に近づくくと便ふたが自動で開き、便器から離れると便ふたが自動で閉まります。

便ふたをリモコンや手で閉じたときは、約10秒間便ふたは自動で開きません。(便ふたが繰り返し開かないようにしています。)

ここで確認! リモコン裏面

リモコン裏面の表示部で、ふた開閉が「入」になっていることを確認してください。



1 便器に近づく

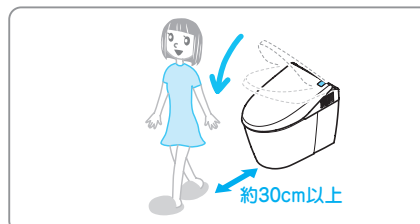
便ふたが自動で開きます。

- 人体検知センサーで人を検知して、便ふたが自動で開きます。
※夏場など室温が30℃を超えると、人と周囲の温度差が少なく、センサーが検知できないことがあります。
その場合は、リモコンのスイッチで開閉してください。

2

便座を使用するとき

- 便座に座った時間が【6秒以上のとき】
便器から約30cm以上離れると便ふたは約90秒後に自動で閉まります。
【6秒満たないとき】
便器から約30cm以上離れると便ふたは約5分後に自動で閉まります。

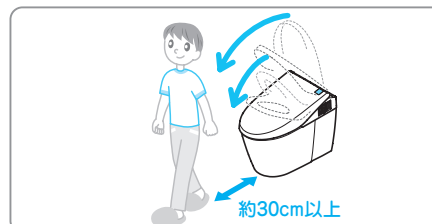


便ふたが自動で閉まります。

便ふたが自動で開閉するのをやめる→46ページ

立って小便をするとき

- 便座はリモコンで開けてください。
●便座・便ふたを開けて便器の前に立った時間が【6秒以上のとき】
便器から約30cm以上離れると便座・便ふたは約90秒後に自動で閉まります。
【6秒満たないとき】
便器から約30cm以上離れると便座・便ふたは約5分後に自動で閉まります。

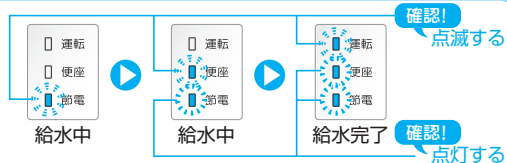


便座・便ふたが自動で閉まります。

便器の水を流す

水の流しかたには、使用前に水を流す（オートプレ洗浄）、使用後に水を流す（リモコン便器洗浄、オート洗浄）があります。

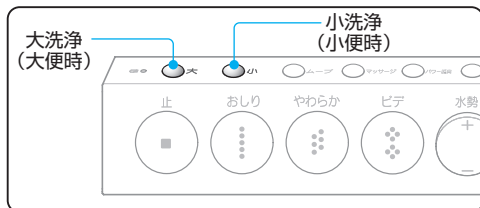
タンク給水中は、ウォシュレット本体表示部のランプが点滅してタンクへの給水状態をお知らせします。
この間は「リモコン便器洗浄」をしても流れない場合があります。



リモコン便器洗浄の使いかた

リモコンのスイッチで大・小便を流すことができます。（オート洗浄が「入」でもリモコンで流すことができます。）
大小のスイッチを使い分けると節水になります。

- リモコンの ○大または ○小を押す
便器洗浄します。



オート洗浄の使いかた

便器から離れると自動で便器洗浄を行います。（流し忘れを防止します。）

ここで確認! リモコン裏面

リモコン裏面の表示部で、流すが「入」になっていることを確認してください。



便座を使用するとき

- 便座に6秒以上座らないと、自動で便器洗浄しません。

便座から立ち上がると約5秒後に自動で便器洗浄します。



アドバイス

- 便器洗浄後、約60秒はオート洗浄しません。リモコンのスイッチで流してください。

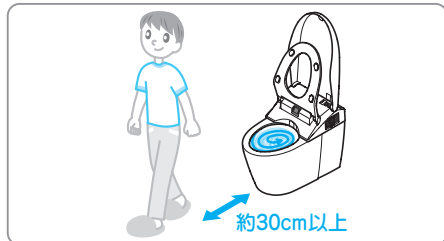
- 便座に座った時間により大・小洗浄が切り替わります。
約6～約30秒の場合…「小洗浄」
約30秒以上の場合…「大洗浄」

オート洗浄を使わないとき→46ページ

立って小便をするとき

- 便器の前に6秒以上立たないと、自動で便器洗浄しません。

小便後、便器から約30cm以上離れると約3秒後に自動で「小洗浄」します。



アドバイス

- 便器洗浄後、約60秒はオート洗浄しません。リモコンのスイッチで操作してください。

オートプレ洗浄の使いかた

便座に座ると自動で少量の水を流し、便器ボウル面を濡らすことで、汚れが付着しにくくなります。
オートプレ洗浄は便座に座らないとはたらきません。

- リモコンの プレ洗浄 ●を押す

- リモコン裏面表示部に「●」が表示されます。

オートプレ洗浄が使えるようになります。



オートプレ洗浄を使わないとき

- リモコンの プレ洗浄 ●を押す

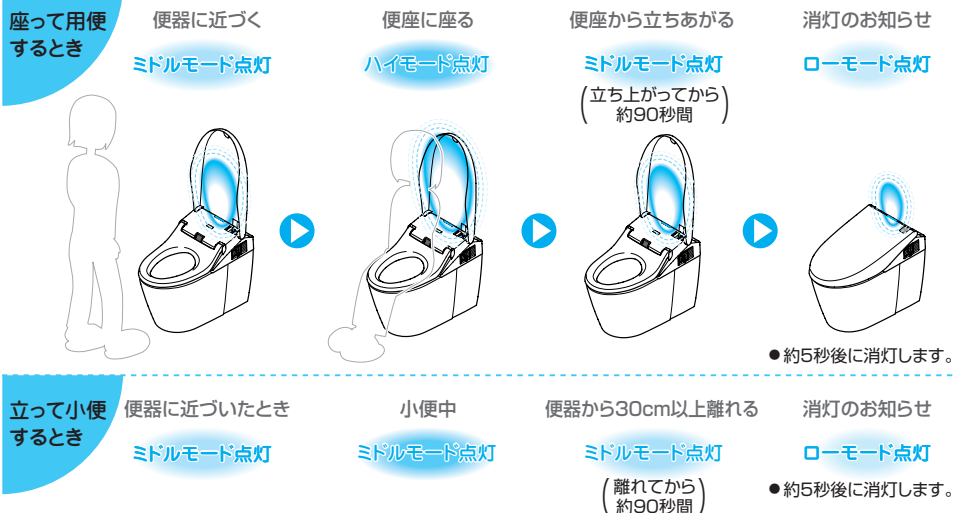
- リモコン裏面表示部の「●」が消えます。

オートプレ洗浄をやめます。



やわらかな明かりで照らす（やわらかライト）

やわらかな光でトイレ室内を演出します。※主照明は別途必要です。



トイレに香りをひろげる（オートフレグランス）

便器に近づくと、自動で心地良い香りを風にのせて、トイレ室内を快適にします。

⚠ 注意

- フレグランスセット同梱の取付説明書をよく読んで正しくお使いください。
- 他のフレグランスオイル等は使用しないでください。
（市販のアロマオイルなどを使用すると、異臭やウォシュレットの故障の原因になります。）

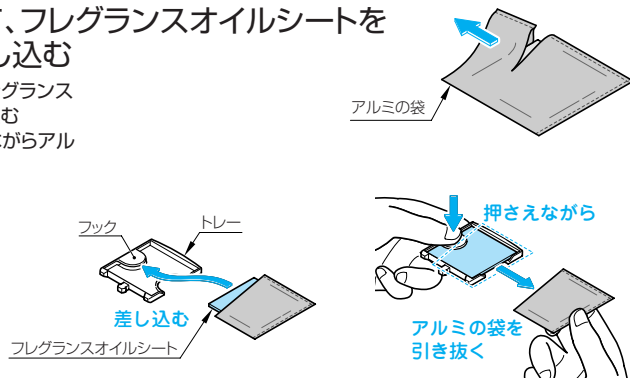
はじめて取り付けるとき

はじめはトレーは取り付けられていません。
オイルが手につかないようにご注意ください。ついた場合は水でよく洗ってください。
アルミの袋で手を切らないようにご注意ください。

① フレグランスセットからフレグランスオイルシートとトレーを取り出す

② アルミの袋を開けて、フレグランスオイルシートをトレーのフックに差し込む

- アルミの袋に入ったまま、フレグランスオイルシートをトレーに差し込む
- トレーのフックを指で押さえながらアルミの袋を引き抜く

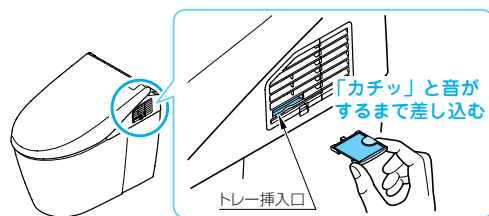


③ トレーを取り付ける

- ウォシュレット本体のトレー挿入口に「カチッ」と音がするまでトレーを差し込む

アドバイス

- トイレ環境などで、フレグランスの香りの強さが異なります。
香りが弱く感じる場合は、パワー脱臭を使用することで香りを強くすることもできます。
※ 便座に座らないとパワー脱臭は使用できません。



フレグランスオイルシートについて

- フレグランスオイルシートの交換の目安は約20日間です。
- 香りが弱くなった場合は、新しいフレグランスオイルシートに交換してください。
- フレグランスオイルシートを使い果たした場合は、新しいものをご購入ください。

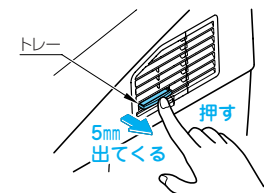
交換部品/別売品
67ページ

フレグランスオイルシートを交換する

オイルが手につかないようにご注意ください。ついた場合は水でよく洗ってください。
取りはずしたフレグランスオイルシートは可燃物ゴミとして処理してください。

① トレーをウォシュレット本体から取りはずす

- トレーを指で押すと、約5mm出てきます。



② フレグランスオイルシートをトレーから取りはずす

- トイレットペーパーなどでフレグランスオイルシートをはさむ
- フレグランスオイルシートを上を持ち上げた後、手前に引く

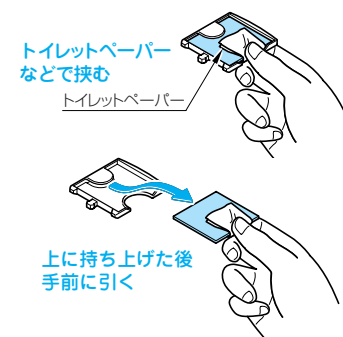


③ 新しいフレグランスオイルシートをトレーに取り付ける

「はじめて取り付けるとき」 24ページ 手順②をご覧ください。

④ トレーを取り付ける

「はじめて取り付けるとき」 24ページ 手順③をご覧ください。



トイレ室内を暖める（AH2のみ）

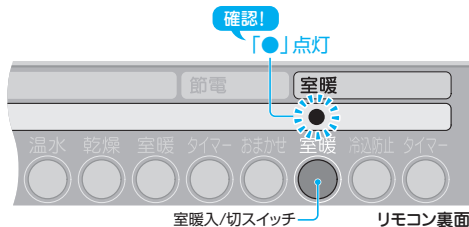
室内暖房する

トイレ室内をあたためます。

リモコンの^{室温}を押す

- リモコン裏面表示部に「●」が表示されます。

室内暖房をはじめます。



- ウォシュレット本体の右側から温風が出ます。

室内暖房温度を調節する→19ページ

アドバイス

- 暖房を始めてから12時間たつと自動で止まります。（切り忘れ防止）
- 室温が設定温度（上限は約25℃）以上のときは、約20秒間風が出て、自動で止まります。

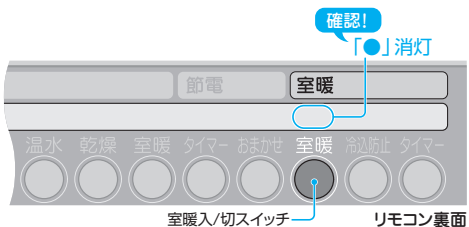


室内暖房を切るときは

もう一度リモコンの^{室温}を押す

- リモコン裏面表示部の「●」が消えます。

約10秒後に自動で止まります。



室内暖房について

- 室内暖房を使用することで、室温+約10℃でトイレ室内をあたためることができます。（当社試験条件で、室温5℃のときの1時間後の温度
トイレ寸法：800mm（幅）×1700mm（奥行き）×2000mm（高さ））
- 室内の広さ、壁・床質、建築構造、外気温などの条件により、設定温度まで室温が上昇しないことがあります。

タイマーで室内暖房する

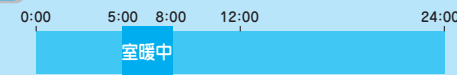
タイマー室内暖房とは・・・

一度設定すると、毎日その時間に自動でトイレ室内をあたためます。
室内暖房時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。

例えば・・・午前5時から8時まで（3時間）室内暖房する場合

- 午前5時にリモコンの^{タイマー}を押す
- 室内暖房時間「3」を選ぶ

完了 開始時刻に合わせて、タイマー室内暖房がはたらきます。

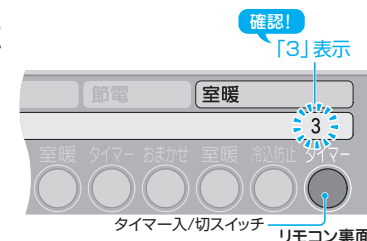


（例）午前5時から8時まで（3時間）室内暖房をする場合

室内暖房を開始したい時刻（午前5時）になったらリモコンの^{タイマー}を押す

- リモコン表示部に「3」が表示されます。

タイマー室内暖房を始めます。



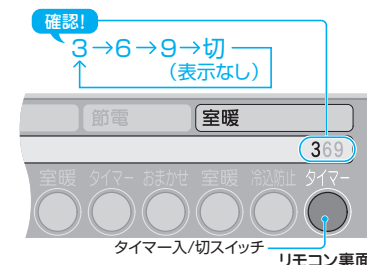
室内暖房時間の変更

3・6・9時間のいずれかに設定を変更できます。

設定時間（3・6・9時間）を変更したいときは、室内暖房を開始する時刻に再度設定し直してください。
室内暖房開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー室内暖房をやめてから、開始したい時刻に
もう一度^{タイマー}を押してください。

リモコンの^{タイマー}を押す

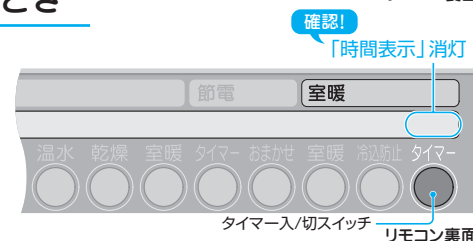
- スイッチを押すたびに、3→6→9→切（表示なし）と表示が変わります。
設定したい時間をお選びください。



タイマー室内暖房を使わないとき

「時間」の表示が消えるまで リモコンの^{タイマー}を繰り返し押す

タイマー室内暖房をやめます。



冷込防止の使いかた

室温が約5℃以下になると自動で暖房をはじめ、約7～約10℃（当社試験条件による）で暖房を停止します。

アドバイス

- 室温が約5℃以下になるおそれのある場合は、凍結防止のため冷込防止を行ってください。

リモコンの^{冷込防止}を押す

- リモコン裏面表示部に「●」が表示されます。

室温が約5℃以下になると
自動で室内暖房を始めます。

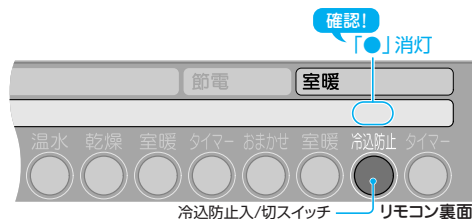


冷込防止を使わないとき

リモコンの^{冷込防止}を押す

- リモコン裏面表示部の「●」が消えます。

冷込防止をやめます。



選べる節電

あなたに最適な節電を選んで設定してください。
節電中でもウォシュレットを使用できます。（便座に座ると一時的に温かくなります。）

ウォシュレットが自動でする節電です

みんな寝ている夜中や
早朝の電気がもったいない！

おまかせ節電

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて（約26℃）節電します。

（例）21:00から6:00頃まであまり使用しない場合



設定のしかた→32ページ

お客様が設定する節電です

勤めがあるので、毎日
決まった時間帯に家を空ける

タイマー節電

一度設定すると、毎日その時間に自動で便座ヒータを切って節電します。
タイマー節電時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。

（例）8:00から17:00まで使用しない場合



設定のしかた→30ページ

おまかせ節電とタイマー節電を同時に使うことができます

タイマー節電+おまかせ節電

タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて、節電します。

（例）「タイマー節電」と「おまかせ節電」の例を組み合わせた場合



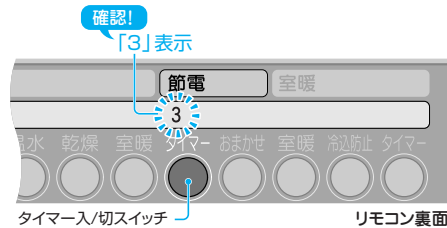
設定のしかた→33ページ

時間帯を指定して節電する(タイマー節電)

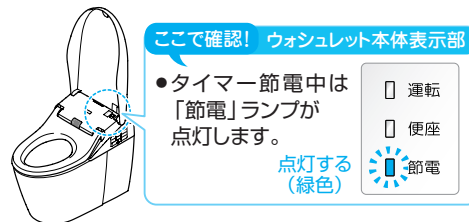
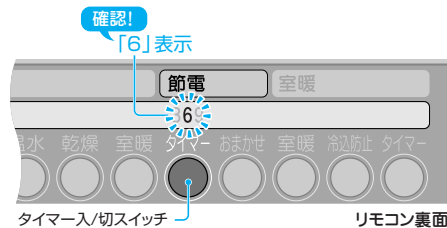
(例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合

- 1 タイマー節電を開始したい時刻
(午前1時)になったらリモコンの
「節電」を押す
タイマー節電を始めます。

●リモコン表示部に「3」が表示されます。



- 2 「節電」を押して、6時間に
設定する
設定が完了しました。



節電時間の変更

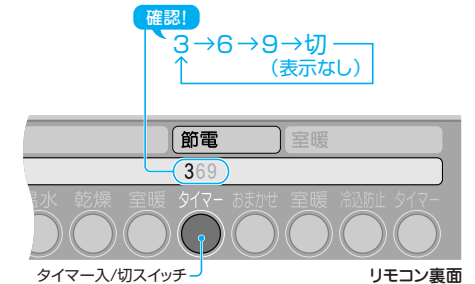
3・6・9時間のいずれかに設定を変更できます。

設定時間(3・6・9時間)を変更したいときは、節電を開始する時刻に再度設定し直してください。
節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度

「節電」を押してください。

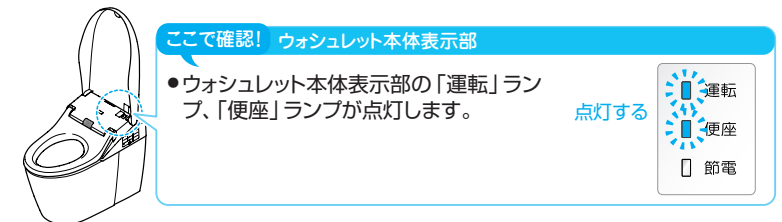
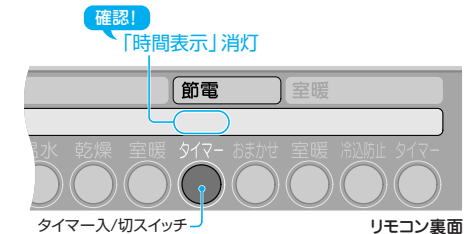
- リモコンの「節電」を押す
 - スイッチを押すたびに、3→6→9→切(表示なし)と表示が変わります。
設定したい時間をお選びください。

変更が完了しました。



タイマー節電を使わないとき

- 「時間」の表示が消えるまで
リモコンの「節電」を押す
タイマー節電をやめます。



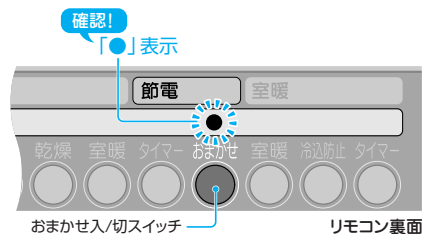
自動で節電する（おまかせ節電）

おまかせ節電をする

リモコンの を押す

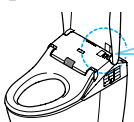
- リモコン裏面表示部に「●」が表示されます。

自動で便座の温度を下げて、節電します。



アドバイス

- トイレをあまり使用しない時間帯をみつけるまで、2～3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。



ここで確認！ ウォシュレット本体表示部

- あまり使用しない時間になると「便座」ランプ、「節電」ランプが点灯します。

(緑色)
点灯する
(オレンジ色)

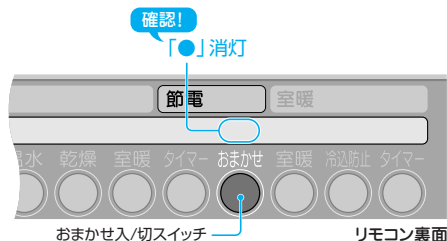


おまかせ節電を使わないとき

リモコンの を押す

- リモコン裏面表示部の「●」が消えます。

おまかせ節電をやめます。



ここで確認！ ウォシュレット本体表示部

- 「運転」ランプ、「便座」ランプが点灯します。



タイマー節電とおまかせ節電を同時に使うとき

スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

1 タイマー節電を開始したい時刻に、リモコンの を押す

タイマー節電のしかたは30ページ

2 を押す

おまかせ節電のしかたは32ページ

かしこく節電

- 温度調節を低めにしましょう
寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。
- 便ふたを閉めましょう
便ふたを閉めておくと便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。
- 長時間使用しないときは「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう

運転入/切スイッチを「切」にしておくと節電になります。

お手入れのしかた

お手入れの前に



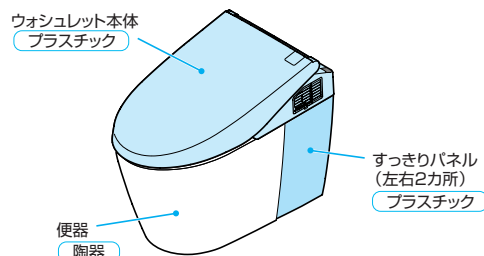
ピカピカの便器や便座で、イメージアップ

便器や便座をピカピカにしておく、それだけで印象がワンランクアップします。



掃除をラクにするコツ

便器や便座の汚れ、結露や床にこぼれた小水などは、気が付いたらサッとふき取る習慣をつけましょう。家族の協力も得て、気づいた人がその場で掃除をすることがポイントです。



ご注意 掃除方法も使いかたを間違えると傷つけてしまいます。下記の道具・洗剤は使用しないでください。

プラスチック(樹脂)部分・ゴム部分	シンナー、ベンジン、クレンザー、ナイロンたわし、かわいた布、トイレペーパー
陶器部分	強酸性・強アルカリ性・研磨剤入りの洗剤、金属ブラシ、研磨剤入りナイロンたわし
金属部分	たわし、ナイロンたわし、クレンザー、みがき粉、粗い粒子を含む洗剤 シンナー、ベンジン、塩素系洗剤、強アルカリ性薬品

日常のお手入れならこの道具(基本道具)



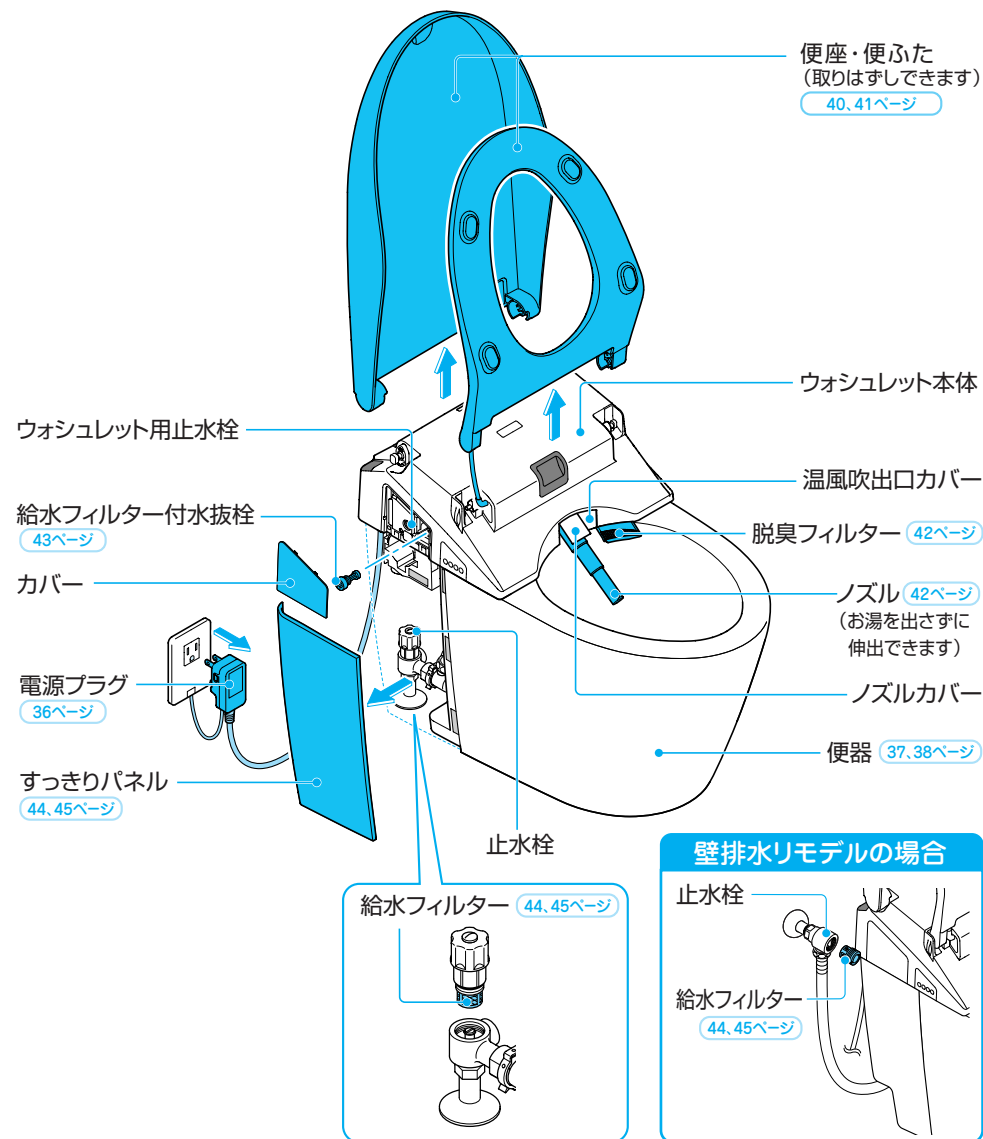
各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れができます

ご注意

お手入れのときには安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

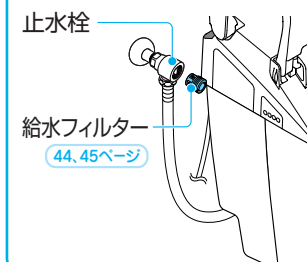
※「ノズルそうじスイッチ」「便器そうじスイッチ」使用時は除きます。

※電源プラグを入れて(または電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押して)約10秒～約1分間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開」しません。(やわらかライトが点滅してお知らせします。)リモコンで操作してください。



お手入れ術

壁排水リモデルの場合



電源プラグのお手入れと点検

電源プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

① 電源プラグを抜く

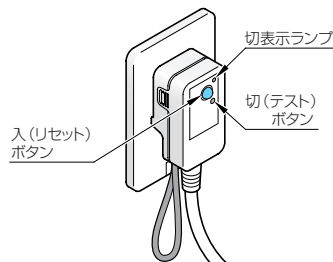
② 掃除をする

- 電源プラグの刃などについたほこりをかわいた布で取り除いてください。



③ 電源プラグを差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。



④ 点検をする

「切(テスト)」ボタンを押す

- (切表示)ランプが点灯します。

「入(リセット)」ボタンを押す

- (切表示)ランプが消灯します。

以上のように作動すれば正常です。

※電源プラグを入れて(または電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押して)約10秒～約1分間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開」しません。(やわらかライトが点滅してお知らせします。)リモコンで操作してください。

便器のお手入れ

ご注意

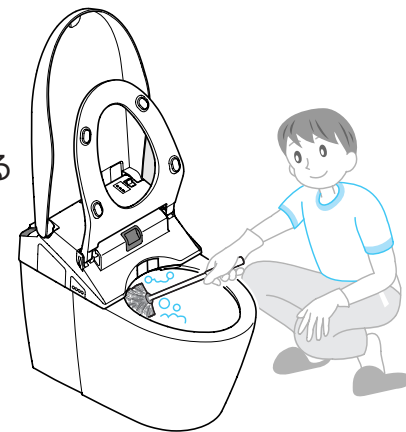
- お手入れにはトイレのクリーナー陶器用または、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)をおすすめします。
- 便器内の掃除にトイレ用中性洗剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
- 便器内を洗剤でお手入れするときは、で水を流す前に行ってください。また、便器についた洗剤は確実にふき取ってください。(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体に入り、故障の原因になります。)
- ヒーター付便器のときは…
便器にはヒーターを組み込んでいますので便器や床に水をかけないでください。また、小便などが便器から飛び散ったときは、すぐにふき取ってください。

便器部のお手入れ

① 電源プラグを抜く

② トイレ用ブラシなどでお手入れをする

③ 電源プラグを差し込む

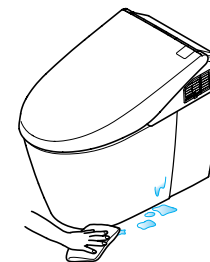


お手入れ術

床が汚れたときは…

よくしぼったぞうきんでふき取ってください。

- 便器から飛び出した小便
- 器具についた露
- 掃除の際、床に落ちた洗剤や水など



水を流しながら便器のおそうじをする

便器の水を流す状態が自動で切り替わり、ラクに掃除ができます。
※洗剤がウォシュレット本体や便座・便ふたなどのプラスチック部分に付着しないようご注意ください。
タンク給水中に「便器そうじ」スイッチを押すと、正常に動作しない場合があります。

タンク給水中のお知らせ→22ページ

① リモコンの を押す

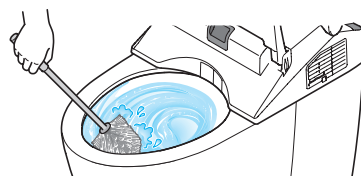
●便器の掃除を始めます。



② 便器内に水が流れる(約30秒)

●便器ボウル内の掃除をしてください。

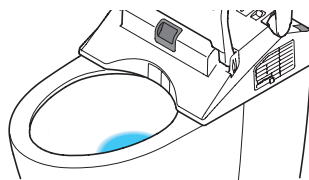
途中で  を押すと、30秒を待たずに ③ へ移ります。



③ 便器内の水が排水され、水面が下がる(約30秒)

●便器の奥の掃除をしてください。

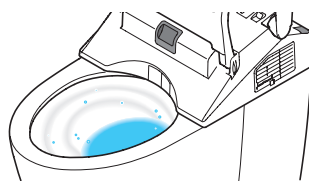
途中で  を押すと、30秒を待たずに ④ へ移ります。



④ 便器内に水が流れて排水したあと水が溜まる

途中で便器そうじをやめたいときは

 を押してください。



ウォシュレット本体、便座・便ふたのお手入れ

ウォシュレット本体・便座・便ふたのお手入れ

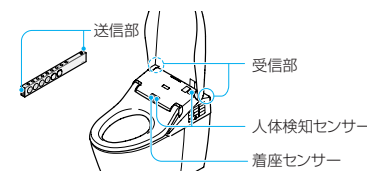
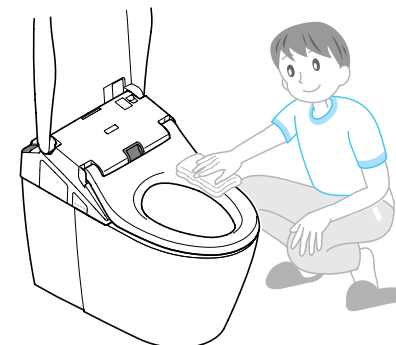
① 電源プラグを抜く

② 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふく

③ 電源プラグをコンセントに差し込む

着座センサー、人体検知センサー、リモコン送信部・受信部をきれいにしましょう!

汚れていると各機能が作動しないことがあります。



気を付けていただきたいこと

- 製品はプラスチックでできていますので、かわいた布やトイレトペーパーなどでふかないでください。傷付きの原因になります。また、便座裏面、ノズル本体は汚れをはじく効果が低下します。
- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないようしっかりふき取ってください。
- ノズルカバーや温風吹出口カバーを無理な力で押ししたり、引っ張ったりしないでください。(破損や故障の原因になります。)
- 温風吹出口カバーを手で開けると最後まで閉まらない場合があります。閉まらない場合は、次の操作を行ってください。
 - ①  を押す
 - ・温風吹出口カバーが閉まり、ノズルが出てきます。
 - ② もう一度  を押す
 - ・ノズルが元に戻ります。



汚れがひどいときは…

- ウォシュレットクリーナー、またはうすめた台所用洗剤(中性)をふくませたやわらかい布でふき取ってください。 [ウォシュレットクリーナーのお求めは66ページ](#)
- その後、水ぶきを行ってください。

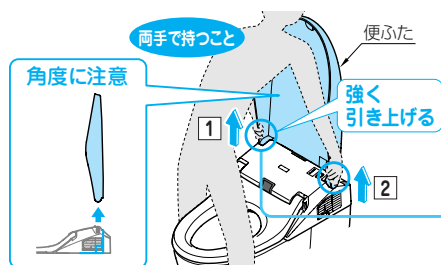


便座・便ふたのすきまのお手入れ

便座・便ふたが取りはずせますので、すみずみまで掃除できます。

便座・便ふたの取りはずしかた

- ① 便ふたを図のように立て、①・②の順に真上に引き上げる



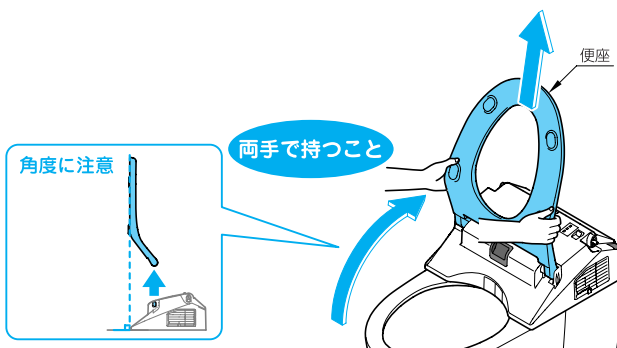
ご注意

便ふたのピンが抜けたときは



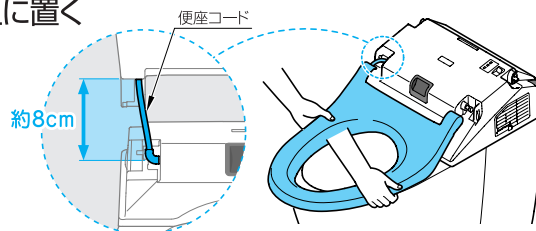
- ② 便座を図のように立て、真上に引き上げる

- 斜めに引き上げたり無理な力を加えないでください。(破損の原因となります。)



- ③ 取りはずした便座は便器の上に置く

- 便座コードの長さは約8cmです。無理に引っ張ったりしないでください。(断線の原因になります。)

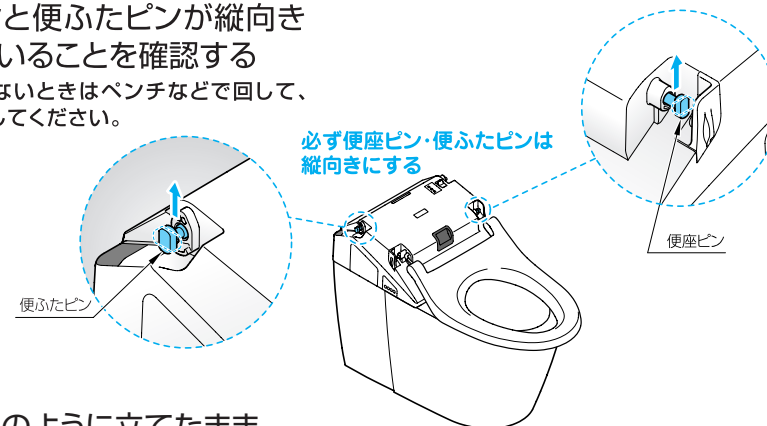


- ④ ウオシュレット本体および便座・便ふたの掃除をする

お手入れのしかたは39ページ

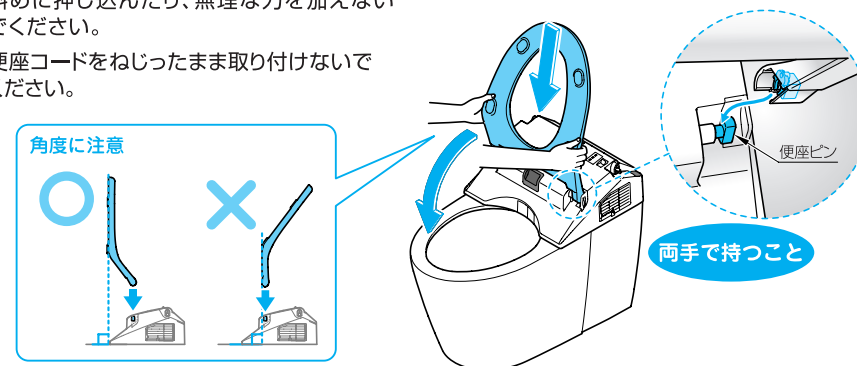
便座・便ふたを取り付ける

- ① 便座ピンと便ふたピンが縦向きになっていることを確認する
※縦向きでないときはベンチなどで回して、縦向きにしてください。



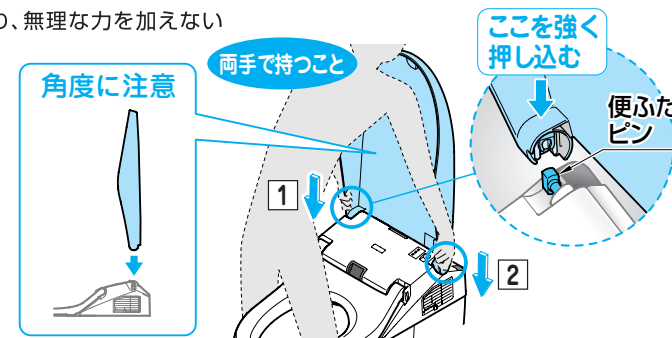
- ② 便座を図のように立てたまま、便座ピンに押し込む

- 斜めに押し込んだり、無理な力を加えないでください。
- 便座コードをねじったまま取り付けしないでください。



- ③ 便ふたを図のように立てたまま、①・②の順に押し込む

- 斜めに押し込んだり、無理な力を加えないでください。



ノズルとノズルまわりのお手入れ

ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

1 リモコンの を押す

ノズルが出てきます。

- 温風吹出口カバーを閉める音がします。
- ノズルの根元から掃除のための水が出ます。
- ノズルは、約5分後に自動で戻ります。

2 掃除をする

- やわらかい布で水ぶきをしてください。
- ※ ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、押さえつけたりしないでください。(破損や故障の原因になります。)

3 もう一度 を押す

ノズルが戻り、自動でノズルを洗浄します。

アドバイス

- 便座を開けている時や、ノズルの掃除後に便座を開けると、ノズルが戻った後、残水を抜くためにもう一度ノズルが出てきます。約30秒後にノズルは戻ります。

脱臭フィルターのお手入れ

においが気になる場合は、脱臭フィルターの掃除を行ってください。

1 脱臭フィルターのつまみを持ち、手前に引き出す

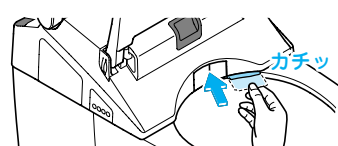
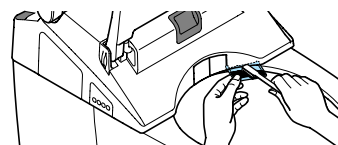
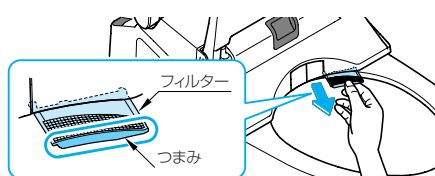
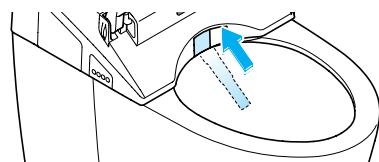
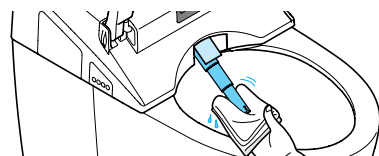
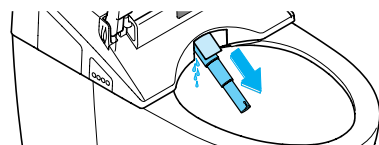
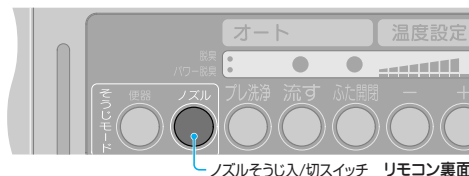
- ※ 脱臭フィルターは取りはずせません。
- 無理に引っ張ったりしないでください。(破損や故障の原因になります。)

2 掃除をする

- フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。

3 脱臭フィルターを押し込む

- 脱臭フィルターを「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。



洗浄の水勢が弱くなったと感じたら

ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓のお手入れ

1 止水栓を閉めて給水を止める 44ページ

2 リモコン裏面の を押し、ノズルを伸出させる (給水管内の圧抜きです。)

3 カバーをはずす

4 給水フィルター付水抜栓をはずす

- 給水フィルター付水抜栓を  ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずしてください。

注意



止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない

- 水が噴き出します。

5 掃除をする

- 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
- 給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

アドバイス

- 洗剤は使わず水洗いしてください。
 - フィルターははずしたり、破ったりしないでください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。 66ページ

6 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、 ドライバーで確実に締めてください。

※ ノズルが戻っている場合は、給水フィルター付水抜栓を押し込む前に、もう一度  を押し、ノズルを伸出させてください。

注意



給水フィルター付水抜栓は確実に締める

- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

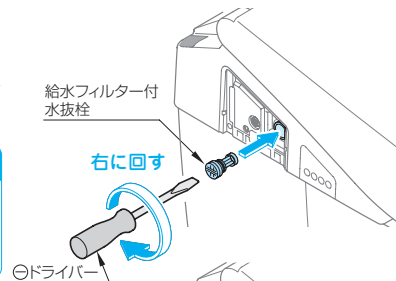
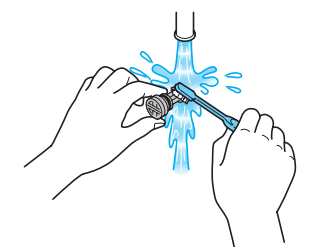
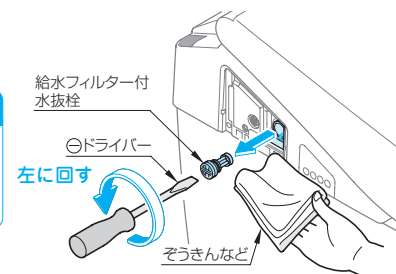
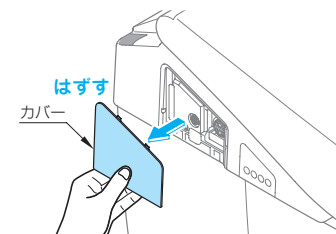
7 カバーを取り付ける

8 を押してノズルを元に戻す

アドバイス

- 便座を開けている時や、ノズルの掃除後に便座を開けると、ノズルが戻った後、残水を抜くためにもう一度ノズルが出てきます。約30秒後にノズルは戻ります。

9 止水栓を開ける 45ページ 手順⑨をご覧ください。



便器部の給水フィルターのお手入れのしかた(付属の開閉工具を使用します。)

① すっきりパネル(左)の後ろ側を手で持ち、手前に引いて取りはずす

- 裏側に、開閉工具・ラベル「給水フィルターのお手入れのしかた」があります。

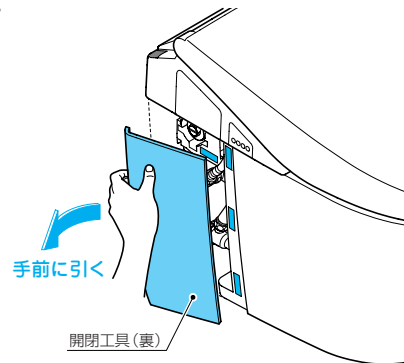
② 止水栓を閉めて給水を止める

- 止水栓のタイプによって閉めかたは異なりますので、確認の上、正しく作業してください。

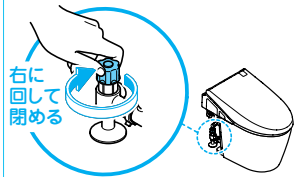
△ 注意



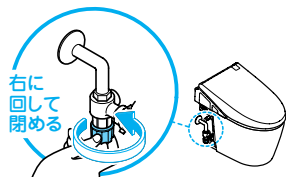
止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない
●水が噴き出します。



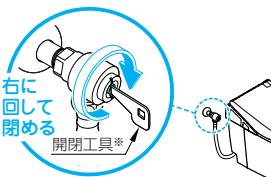
床給水の場合



壁給水の場合



壁排水リモデルの場合

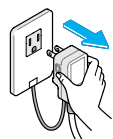


※開閉工具はすっきりパネル(左)の裏側にあります。

③ リモコンカバーを開けて

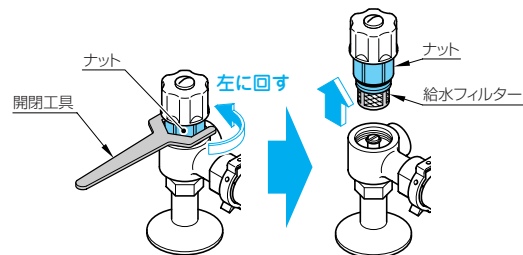
- ノズルを押してノズルを出した後、もう一度ノズルを押す
- 給水管の圧抜きをします。

④ 電源プラグを抜く

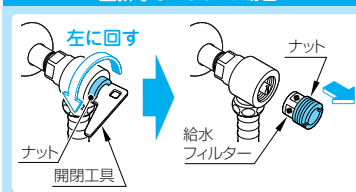


⑤ 止水栓のナットを開閉工具で開けて給水フィルターを取り出す

- 開閉工具はすっきりパネル(左)の裏側にあります。



壁排水リモデルの場合

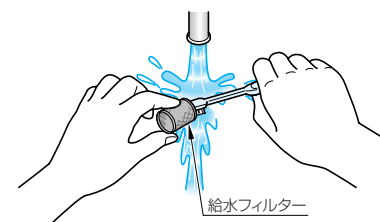


⑥ 給水フィルターを取り外し掃除をする

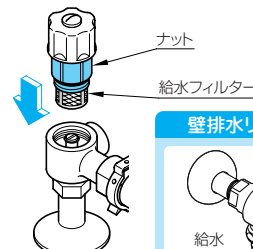
- 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。

アドバイス

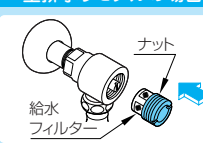
- 洗剤は使わず水洗いしてください。
 - 給水フィルターに無理な力を加えないでください。変形の原因になります。
- 給水フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。 [66ページ](#)



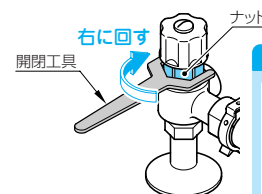
⑦ 給水フィルターを元の位置に取り付ける



壁排水リモデルの場合



⑧ 止水栓を元の位置に取り付け、ナットを開閉工具で締め付ける



壁排水リモデルの場合



△ 注意

- ナットが回らなくなるまで確実に締める
- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

⑨ 止水栓を開ける

- 止水栓及び配管接続部から水漏れていないか確認してください。

床給水の場合



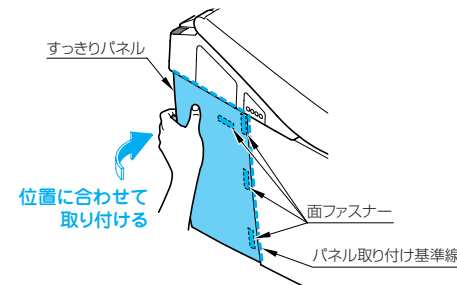
壁給水の場合



壁排水リモデルの場合



⑩ 開閉工具を収納位置へ戻し、すっきりパネルをパネル取り付け基準線に合わせて取り付ける



⑪ 電源プラグを差し込む

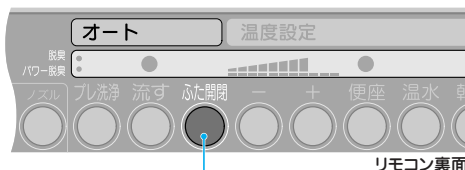
位置に合わせて取り付ける

設
定

設定を変えたいときは

便ふたを自動で開閉する／しない オート開閉

はじめの設定:入(自動で開閉する)



ふた開閉入/切スイッチ

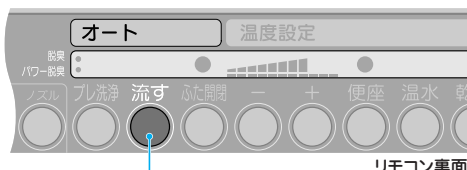


- 押すたびに設定が切り替わります。
 - ・自動で開閉するとき: リモコン裏面表示部に「●」を表示させます。
 - ・自動で開閉しないとき: リモコン裏面表示部の「●」を消します。

変更が完了しました。

自動で便器洗浄する／しない オート洗浄

はじめの設定:する



流す開閉入/切スイッチ



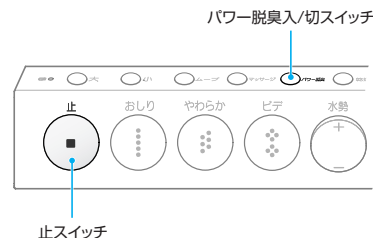
- 押すたびに設定が切り替わります。
 - ・自動で便器洗浄するとき: リモコン裏面表示部に「●」を表示させます。
 - ・自動で便器洗浄しないとき: リモコン裏面表示部の「●」を消します。

変更が完了しました。

自動で標準の脱臭をする／しない

「便座に座る」～「便座から立ち上がる」までの脱臭をする／しないの設定をすることができます。「しない」に設定すると「便座に座る」～「便座から立ち上がる」のオートフレグランスも「しない」に変更されます。

はじめの設定:する

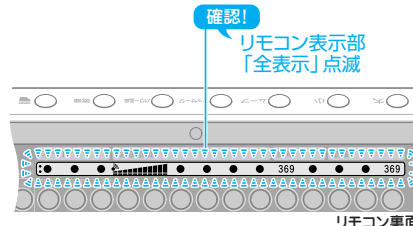


パワー脱臭入/切スイッチ

止スイッチ

1 止 を10秒以上押す

- リモコン裏面の表示部全体が点滅するまで押してください。



2 パワー脱臭 を押す

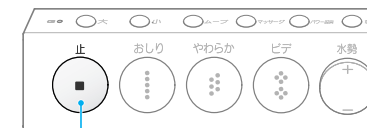
- 押すたびに設定が切り替わります。
 - ・自動で標準の脱臭をするとき: 「ビッ」という電子音が鳴るまで押します。
 - ・自動で標準の脱臭をしないときは: 「ピーッ」という電子音が鳴るまで押します。

3 もう一度 止 を押す

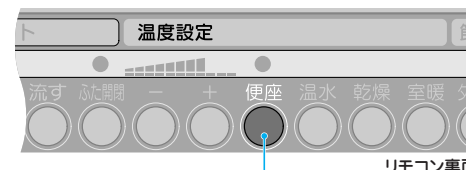
変更が完了しました。

自動でパワー脱臭する／しない オートパワー脱臭

はじめの設定:する



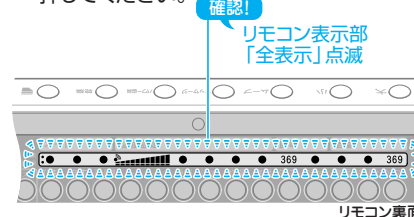
止スイッチ



便座入/切スイッチ

1 止 を10秒以上押す

- リモコン裏面の表示部全体が点滅するまで押してください。



2 便座 を押す

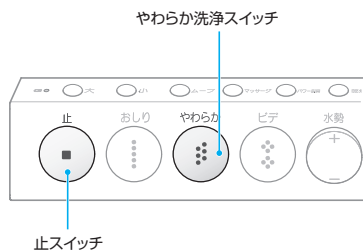
- 押すたびに設定が切り替わります。
 - ・自動でパワー脱臭をするとき: 「ビッ」という電子音が鳴るまで押します。
 - ・自動でパワー脱臭をしないときは: 「ピーッ」という電子音が鳴るまで押します。

3 もう一度 止 を押す

変更が完了しました。

お好みの水勢・洗浄位置のままにしておきたいとき

1回前に使った水勢・洗浄位置のままにしておくことができます。



① リモコン(止)を10秒以上押す

- リモコン裏面の表示部全体が点滅するまで押してください。

② (やわらか)を5秒以上押す

③ もう一度(止)を押す

設定が完了しました。

- 元に戻したいときは、同じ操作を行ってください。

停電・断水的时候は

停電・断水時の水の流しかた

停電や断水になると便器の水を流せなくなります。次の方法で対応してください。

アドバイス ●断水になったらオート洗浄の設定を「切」にしてください。

オート洗浄を使わないときは46ページ

- 大きめのバケツに水を入れ(8Lが目安)、便器ボウル面の中心をめがけて勢よく流してください。このとき、便器ボウルから水があふれないように注意してください。

アドバイス ●便器の周りに新聞紙などを置き、床をぬらさないようにしてください。

- 流した後、便器ボウル面の水位が低くなった場合は水をつぎ足してください。便器配管からのにおいを防ぎます。



リモコンで操作できないときは

電池切れ予告ランプが点滅している場合は、リモコンの乾電池を交換してください。

室内の広さ、壁、材質などの条件により、電池切れ予告ランプが点滅していても受信できないことがあります。その場合も新しい乾電池と交換してください。

乾電池を交換する

① ウォシュレット本体操作部の(運転)を押す

- 「運転」ランプが点灯します。

② リモコンをリモコンハンガーからはずす

③ リモコン裏面の電池カバーを開け、単3形乾電池を交換する

乾電池の入れかた、乾電池について→14ページ

④ 電池カバーを閉める

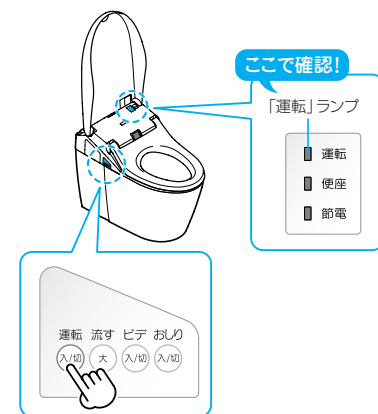
⑤ ウォシュレット本体操作部の(入/切)を押す

- 「運転」ランプが点灯します。

- 電池交換を行うと、タイマー節電や、オート洗浄などの設定が解除される場合があります。

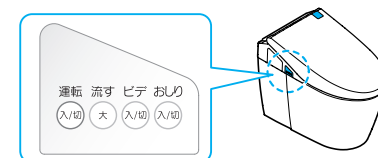
その場合はもう一度設定をやり直してください。

電池交換を行うと電池切れ予告ランプが約2秒間点灯する場合があります。



リモコンの電池が切れたときなど

ウォシュレット本体操作部のスイッチで操作してください。



冬場の凍結を防ぐには

凍結が予想されるとき

節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

タイマー節電をやめるときは31ページ

おまかせ節電をやめるときは32ページ

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、凍結予防を行ってください。

凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。

製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

※便器の種類によって、凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

ご注意

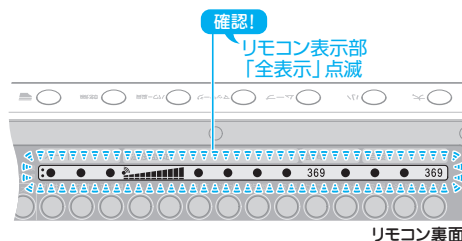
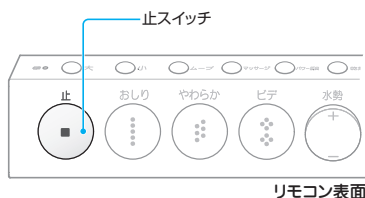
凍結予防の作業前には、**オート**、**フル洗**、**流す**、**ふた開**を「切」にしてください。

凍結予防のしかた（流動方式）

便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流して凍結を予防する方法です。

1 リモコンの を10秒以上押す

(リモコン裏面の表示部がすべて点滅するまで押す)



2 リモコンの を押す

●ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ビッ」という電子音が鳴ります。

アドバイス ●凍結予防をやめるときは、ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると、「切」のときは「ピーッ」という電子音が鳴ります。

3 もう一度 を押す

凍結予防を始めます。

設定が完了しました。
凍結の予防を開始します。

- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯から点滅に変わります。
- ノズルが収納したままでノズル付近から約50mlの温水が5分間隔で出ます。
- 便器の水が約10分間隔で流れます。



ここで確認! ウォシュレット本体表示部

点滅する

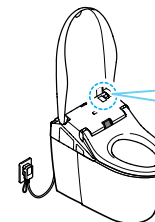


凍結予防を確実に行うには…

- リモコンの温水温度を40℃、便座温度を「高」に設定してください。
- 便ふたを必ず閉めてください。

凍結予防をやめるとき（流動方式）

- 「凍結予防のしかた」と同じ操作を行ってください。凍結予防のしかたは50ページ
- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点滅から点灯に戻ります。



ここで確認! ウォシュレット本体表示部

点灯する

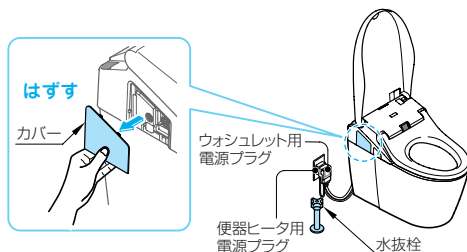


凍結予防のしかた(ヒータ付便器・水抜併用方式)

水抜きのしかた

① 水抜栓を操作して、給水を止める

※止水栓は開けたままにしておいてください。

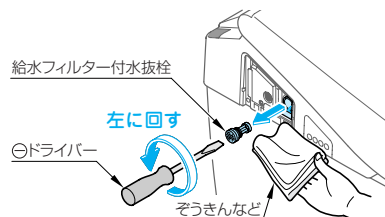


② 配管の水を抜く

① リモコン裏面のノズルを押す、ノズルを伸出させる (給水管内の圧抜きです。)

② カバーをはずす

③ 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす



⚠ 注意

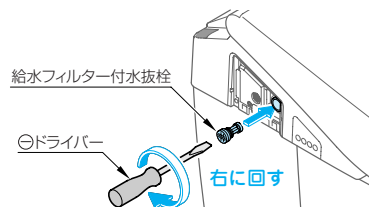


水抜栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓をはずさない

禁止 ●水が噴き出します。

④ 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

※ノズルが戻っている場合は、給水フィルター付水抜栓を押し込む前に、もう一度ノズルを伸出させてください。



⚠ 注意



給水フィルター付水抜栓は確実に締める

●確実に締めないとき水漏れの原因になります。

⑤ カバーを取り付ける

⑥ ノズルを押してノズルを元に戻す



アドバイス

●便座を閉めている時や、ノズルの掃除後に便座を閉めると、ノズルが戻った後、残水を抜くためにもう一度ノズルが出ます。約30秒後にノズルは戻ります。

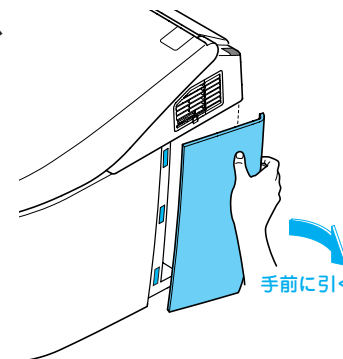
③ すっきりパネル(右)の後ろ側を手で持ち、手前に引いて取りはずす

④ タンクの水を抜く

- すっきりパネル(右)裏側のラベル「タンク内水抜き作業手順」をご覧ください。
- 付属の水受けトレイを置く

- リモコンの○大を押す

- 便器側面の水抜きつまみを回してタンク内の水を抜く
(水抜き後は、つまみを確実に締めてください。)



⑤ ウォシュレット内を保温する

- ウォシュレット本体操作部の運転(A/W)が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「高」にする
- ※凍結予防の作業後には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

アドバイス

- ヒータ付便器は室温が約5℃以下になると自動でヒータが入ります。



水抜き後に再通水するとき

① 水抜栓を操作して、給水する

※配管や本体から水漏れしていないことを確認する

② ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの○おしりを押してノズルから2分間吐水させます。
(吐水は紙コップなどで受けてください。)

アドバイス

- 残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

③ ○大または○小を押して水を流す

※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていなくて便器洗浄できません。

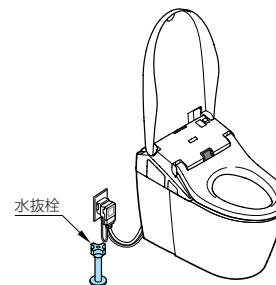
- 一度「リモコン便器洗浄スイッチ」を押すとタンクに水が溜まるまで約1分かかります。

その間はすべてのスイッチを押さないでください。

- 給水完了後、再度「便器洗浄スイッチ」を押して便器洗浄の確認を行ってください。

タンク給水の目安→22ページ

④ 便器の水面に水が溜まってから、もう一度○大または○小を押す



トイレを長期間使わないとき

- ウォシュレット本体内の水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。また、製品が破損するおそれがありますので水抜きを行ってください。
- 冬季に帰省されるときや別荘などで使用するときには、凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

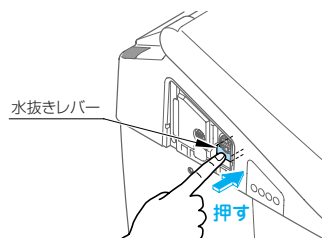
水抜きをする

- 1 止水栓を閉める（流動方式の場合）または、水抜き栓を操作して、給水を止める（ヒータ付便器・水抜併用方式の場合）
※ヒータ付便器・水抜併用方式の場合は、止水栓を開けたままにしておいてください。

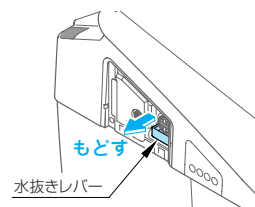
- 2 配管の水を抜く [52ページ](#)
※水を抜いた後、カバーははずした状態にしておいてください。

- 3 ウォシュレット内の水を抜く

- 1 水抜きレバーを押し続ける
●ウォシュレット本体下側から水（40ml程度）が便器内に出来ます。水が完全に抜けるまで約10秒かかります。



- 2 手を離し、水抜きレバーを元に戻す



- 3 カバーを取り付ける



- 4 タンクの水を抜く
（ヒータ付便器・水抜併用方式の場合）

[53ページ](#) 手順 [5](#) 参照

- 5 電源プラグを抜く

- 6 便器の溜水を処置する

アドバイス ●便器に残る溜水には、不凍液を入れておくことでより安心できます。

水抜き後に再通水する

- 1 止水栓を開ける、または水抜き栓を操作して給水する

※配管や本体から水漏れしていないことを確認する

- 2 電源プラグをコンセントに差し込む

- 3 ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの  を押してノズルから2分間吐水させます。（吐水は紙コップなどで受けてください。）

- 4 ○大または ○小 を押して水を流す

- ※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていないと便器洗浄できません。
- 一度「リモコン便器洗浄スイッチ」を押すとタンクに水が溜まるまで約1分かかります。

その間はすべてのスイッチを押さないでください。

- 給水完了後、再度「便器洗浄スイッチ」を押して便器洗浄の確認を行ってください。

[タンク給水の目安→22ページ](#)

- 5 便器の水面に水が溜まってから、もう一度 ○大 または ○小 を押す

脱臭が弱くなったら

脱臭フィルターを掃除しても、まだにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。

交換部品/別売品は66ページ

脱臭カートリッジを交換する

- フレグランストレイをはずす (AH2のみ)**
※オイルが手につかないように注意してください。
- ウォシュレット本体右側のルーバーをはずす**
※ドライバーでキズが付かないように注意してください。
- 脱臭カートリッジの突起をつまんで引き出す**
※脱臭カートリッジの黒粉が手についた場合は、すぐに手を洗ってください。
皮膚や目などに接触した場合、炎症を起こすおそれがあります。
- 新しい脱臭カートリッジを取り付ける**
※脱臭カートリッジは確実に奥まで押し込んでください。
- ルーバーを取り付ける**
① ルーバーの突起をウォシュレット本体に差し込む
② 「カチッ」と音がするまでルーバーを押し込む
※ルーバーの下2カ所を押さえて取り付けてください。
ルーバーがウォシュレット本体より出ていないことを確認してください。
- フレグランストレイを取り付ける (AH2のみ)**

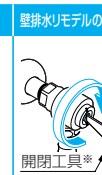
故障かな!?と思ったら

故障かな!?と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためてみてください。それでも直らないときは、お取付店、販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

注意



水漏れが発生したときは、止水栓を開けて給水を止める。



修理を依頼する前に次のことを確認してください。

ウォシュレット本体表示部のランプを確認してください

- ランプがすべて点滅していますか。
ウォシュレット本体表示部のランプが全点滅している場合は、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご連絡ください。

※点滅が解除されるまで、便器の水は流せません。
「停電・断水になったら」(49ページ)と同様に水を流してください。

- 運転ランプが点灯していますか。 (15ページをご覧ください。)

運転ランプが点灯している場合

「リモコンが作動するかどうか確認してください」にお進みください。

※電源プラグを入れて(または、電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押して)約10秒～約1分間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開」しません。
(やわらかライトが点滅してお知らせします。)

運転ランプが点灯していない場合

- 運転ランプは点灯せずに、他のランプが点灯していますか。
● 他のランプが点灯しているとき→節電中の可能性があります。 (29ページをご覧ください。)
- 他のランプが点滅しているとき→凍結予防運転中の可能性があります。 (50ページをご覧ください。)
- すべてのランプが点滅していますか。
→ 次の順序で運転ランプが点灯するか確認してください。

- ① 電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押してください。
- ② ウォシュレット本体操作部の運転スイッチを押してください。
- ③ 停電やブレーカーが切れていませんか。停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカーを「入」にしてください。

リモコンが作動するかどうか確認してください

- リモコンの液晶画面の表示がすべて消えていませんか。
→ 乾電池が正しく入っているか確認してください。
- リモコン上面の電池切れ予告ランプが点滅していませんか。
→ 乾電池が消耗していれば新しい乾電池に交換してください。 (49ページをご覧ください。)
- リモコン送信部や受信部がおおわれていたり、ゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。
→ リモコン送信部や受信部の位置を確認して、障害物や汚れを取り除いてください。 (12, 39ページをご覧ください。)

上記確認の後、次のページからの「該当する現象について確認してください。」にお進みください。

該当する現象について確認してください

作動しない・動かない…おしり洗浄・ビデ洗浄・温風乾燥

現 象	確認内容	確認結果 (原因)	処 置
リモコンでおしり・やわらか・ビデ洗浄や、温風乾燥が操作できない	ウォシュレット本体操作部のスイッチで操作できますか。(おしり・ビデ) 注意 着座センサーが検知しないと作動しません。便座に座って、確認してください。	【作動する場合】 リモコンの信号を受け付けていない可能性があります。	【リモコンが作動するかどうか確認してください】の項目を確認してください。 57ページ
		—	【作動しない場合】着座センサーがはたらきにくい状態になっている可能性があります。着座センサーにゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。着座センサーの位置を確認してゴミや汚れを取り除いてください。 7ページ 座り方、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくくなることがあります。便座に深く腰掛けたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	リモコンでおしり洗浄などを操作すると、ノズルが出てきますか。	【ノズルは出るが洗浄水が出ない(非常に弱い)場合】 ウォシュレットに水が供給されていない可能性があります。	水道が断水していませんか。  を押して、断水の解除をお待ちください。 止水栓が閉まっていますか。止水栓とウォシュレット用止水栓を左に回して開いてください。 11, 15ページ 給水フィルターが詰まっていますか。給水フィルターを掃除してください。 43~45ページ
		【ノズルが出ない場合】 着座センサーが長時間連続検知して、安全装置が働いた可能性があります。	約2時間以上連続して座ると、安全のためおしり洗浄・ビデ洗浄・やわらか洗浄・温風乾燥が操作できなくなります。いったん便座を立ち、再度お使いください。 着座センサーに水滴や汚れが付着していると、着座センサーが連続検知する場合があります。 着座センサーの位置を確認して障害物や汚れを取り除いてください。 7ページ 着座センサーがビニール袋などでおおわれている、便座・便ふたカバーを取り付けたり、幼児用便座・やわらか補高便座を取り付けたままにすると、着座センサーが連続検知する場合があります。 着座センサーをおおっている物や、便座・便ふたカバーは取り除いてください。幼児用便座等をご使用のたびに便座から取りはずしてください。

作動しない・動かない…便器洗浄

現 象	確認内容	確認結果 (原因)	処 置
便器洗浄しない・流れない	ウォシュレット本体操作部やリモコンの操作で、便器洗浄できますか。	【便器洗浄できない場合】 便器に水が供給されていない可能性があります。	水道が断水していませんか。断水が解除するまでお待ちください。 断水中でもバケツの水などで流すことができます。 49ページ 止水栓が閉まっていますか。止水栓を全開にしてください。 15ページ
	連続してスイッチを押していませんか。	—	タンク給水中に便器洗浄すると、排水しない場合があります。 22ページ
自動で便器洗浄しない (オート洗浄)	リモコン裏面の流すに「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	着座センサー・人体検知センサーがはたらきにくい状態になっている可能性があります。または、連続検知している可能性があります。着座センサー・人体検知センサーにゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。着座センサー・人体検知センサーの位置を確認してゴミや汚れを取り除いてください。 7ページ 自動やリモコンで便器洗浄を行うと、約60秒間は自動で便器洗浄を行います。リモコンで便器洗浄を行ってください。

作動しない・動かない…便器洗浄 (つづき)

現 象	確認内容	確認結果 (原因)	処 置
自動で便器洗浄しない (オート洗浄)	リモコン裏面の流すに「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	便座に座っている時間(立ち姿勢での男子小使時は、便器の前に立った時間)が約6秒以下の場合は、自動で便器洗浄をしません。 また、着座センサー・人体検知センサーが検知しにくい状態でないか確認してください。 22ページ 7ページ 男子小使時、便器の正面に立っていると自動で便器洗浄をしません。便器から離れて約3~5秒お待ちください。 22ページ また、着座センサー・人体検知センサーが長時間連続検知した状態でないか確認してください。着座センサー・人体検知センサーにゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。着座センサー・人体検知センサーの位置を確認してゴミや汚れを取り除いてください。 7ページ
		【「●」が消灯している場合】 オート洗浄が「切」です。	リモコンの  を押し、「入」にしてください。 46ページ

作動しない・動かない…便座・便ふたの開閉

現 象	確認内容	確認結果 (原因)	処 置
便座・便ふたが開閉しない	リモコンの操作で便座・便ふたが開閉できますか。	【便座・便ふたが開閉しない場合】 便座・便ふたが正しく取り付けられていない可能性があります。	便座・便ふたを正しく取り付けてください。 40, 41ページ
		【便座・便ふたが開閉しない場合】 (自動では開く) リモコンの信号を受信していない可能性があります。	【リモコンが作動するかどうか確認してください】の項目をご確認ください。 57ページ
自動で便ふたが開かない (オート開閉)	リモコン裏面のふた開閉に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	人体検知センサーAがはたらきにくい状態になっていませんか。人体検知センサーAがビニール袋やテープなどで覆われていたりゴミや水滴などの汚れが付着していれば、それらを取り除いてください。 7ページ 便ふたをリモコンや手で閉じると約10秒間便ふたは自動で開きません。いったんトイレの外に出て、10秒以上たった後に便器に近づくと、自動で開きます。 夏場など室温が約30℃を超えると、検知しにくい場合があります。リモコンの  を押して開けてください。
		【「●」が消灯している場合】 オート開閉機能が「切」になっています。	リモコンの  を押し、「入」にしてください。 46ページ
	やわらかライトが点滅していませんか。	電源プラグをコンセントに差し約10秒~約1分間はセンサー準備のため、自動で便ふたが開きません。	リモコンの  を押して開けてください。
自動で便座・便ふたが閉じない (オート開閉)	リモコンの裏面のふた開閉に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	便座に座っている時間(立ち姿勢での男子小使時は便器の前に立った時間)が6秒以下の場合、便座・便ふたは約5分後に自動で閉まります。 人体検知センサーや着座センサーが検知しにくい状態になっていないか確認してください。 21ページ 7ページ 便器の正面に立っていると便座・便ふたは自動で閉まりません。便器から離れて約90秒お待ちください。 21ページ 着座センサーに水滴や汚れが付着していると、着座センサーが連続検知する場合があります。汚れなどを取り除いてください。 7ページ
		【「●」が消灯している場合】 オート開閉機能が「切」になっています。	リモコンの  を押し、「入」にしてください。 46ページ

作動しない・動かない…室内暖房（AH2のみ）			
現 象	確認内容	確認結果（原因）	処 置
室内暖房が作動しない	室内暖房温度の設定が低くなっていますか。	設定温度（上限は約25℃）より室温が高いと、室内暖房は作動しません。	室内暖房の設定温度を調節してください。 19ページ
タイマー室内暖房が作動しなくなった	リモコンの乾電池を交換しましたか。	リモコンの乾電池を交換したり、乾電池が切れると、設定が解除されることがあります。	タイマー室内暖房の設定をもう一度行ってください。 27ページ
室内暖房が途中で止まってしまった	室内暖房中に便器洗浄を行いましたか。	便器洗浄中は、室内暖房が停止します。	便器洗浄が終了すると、もう一度室内暖房は作動を開始します。
	室内暖房を長時間作動させていませんか。	室内暖房を始めて12時間たつと、切り忘れ防止のため自動で停止します。	もう一度スイッチを押してご使用ください。

作動しない・動かない…脱臭・節電・オートフレグランス			
現 象	確認内容	確認結果（原因）	処 置
脱臭が作動しない	便座に座ると脱臭の作動音が聞こえますか。	【脱臭の作動音がしない場合】	着座センサーが検知しにくい状態になっていないか確認してください。 7ページ 着座センサーがはたらきにくい状態になっている可能性があります。着座センサーにゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。着座センサーの位置を確認してゴミや汚れを取り除いてください。 7ページ
		【脱臭の作動音がする場合】	脱臭フィルターが詰まっている可能性があります。
	リモコン裏面の脱臭に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	脱臭の設定が「入」になっている可能性があります。 20ページ
	リモコン裏面の脱臭に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	作動しない場合、リモコンの「オートパワー脱臭」設定が「切」になっている可能性があります。 47ページ
オートパワー脱臭が作動しない	便座から離れるとオートパワー脱臭が作動しますか。リモコン裏面のパワー脱臭に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】	「オートパワー脱臭」設定を「入」にしてください。 47ページ
オートフレグランスが作動しない（AH2のみ）	脱臭が「切」になっていますか。	—	脱臭の設定を「入」にしてください。 47ページ
	フレグランスオイルシートは定期的に交換していますか。	フレグランスオイルの交換目安（約20日）を過ぎている可能性があります。	フレグランスオイルシートを交換してください。 24、25ページ
	便器の前に約90秒以上立っていませんか。	便座に座らずに人体検知センサーが約90秒以上検知するとオートフレグランスを自動で停止します。	便座に座るとオートフレグランスが作動します。
タイマー節電やおまかせ節電が作動しなくなった	リモコンの乾電池を交換しませんでしたか。	リモコンの乾電池を交換したり、乾電池が切れると、設定が解除されることがあります。	タイマー節電もしくはおまかせ節電の設定をもう一度行ってください。 30～33ページ
おまかせ節電が作動しない	リモコン裏面のおまかせに「●」が点灯していますか。	「おまかせ節電」設定が「入」の場合、使用状況を数日間学習して節電する時間帯を決定しますので、使用頻度によってあまり節電しないこともあります。	「節電機能」を確認してください。 29ページ

冷たい・熱い…便座温度・洗浄温度・温風乾燥温度			
現 象	確認内容	確認結果（原因）	処 置
便座が暖かくな らない（冷たい）	リモコン裏面の表示部を確認してください。	便座の温度設定が「切」または低くなっていますか。	リモコン裏面の ^{温度} を押し、 [＋] で調節してください。 18ページ
	ウォシュレット本体の節電ランプが点灯していますか。	【節電ランプが点灯している場合】 便座ランプが消灯している場合は便座ヒータを切って節電しています。 【節電ランプが点灯している場合】 便座ランプも点灯している場合は便座の温度を下げて節電しています。	便座に座ると一時的にヒータが入り、約15分であたたかくなります。 便座に座ると一時的にあたたかくなります。 29ページ
	1時間以上便座に座っていませんか。	着座センサーが1時間以上連続検知すると安全装置が働き、暖房便座のヒータを「切」にします。	便座から一度離れると自動で便座ヒータが入ります。
	着座センサーの窓が汚れていませんか。	—	着座センサーがおおわれていたり、ゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。おおっているものや汚れを取り除いてください。 7ページ
	おしり・ビデ洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」または低くなっていますか。	リモコン裏面の ^{温度} を押し、 [＋] で調節してください。 19ページ
おしり・ビデ洗浄水が冷たい	吐水の初めだけ冷たいですか。	—	給水温度やトイレ室内の温度が低い場合、吐水初めの温水温度が低くなる場合があります。
温風乾燥温度が低い	リモコン裏面の表示部を確認してください。	温風温度が低くなっていますか。	リモコン裏面の ^{温度} を押し、 [＋] で調節してください。 19ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄水の勢いが弱い			
現 象	確認内容	確認結果（原因）	処 置
洗浄水の勢いが弱い	—	水勢の設定が弱くなっていますか。	リモコンの ^{水勢} で調節してください。 16ページ
	給水フィルターが詰まっていますか。	—	給水フィルターを掃除してください。 43～45ページ
	止水栓が閉まっていますか。	—	止水栓とウォシュレット用止水栓を左に回して開いてください。 11、15ページ

勝手に作動する・勝手に止まる…おしり・やわらか・ビデ洗浄・温風乾燥			
現 象	確認内容	確認結果（原因）	処 置
おしり・やわらか・ビデ洗浄や、温風乾燥を使用していると途中で止まる	連続して使用していませんか。	おしりややわらかビデは約5分間、温風乾燥は約10分間連続使用すると自動で停止します。	もう一度スイッチを押してご使用ください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	—	座っている途中に腰を浮かせたり、便座の前よりに座ると、一時的に着座センサーが検知しなくなる場合があります。便座には深く腰掛けてご使用ください。
ノズルから勝手に水が出る	便座に座るとノズル付近から水が出ますか。	着座センサーが働くと、お湯を出す準備のために数秒間水を流します。	便座に座っていないのにノズル付近から水が出る場合は、着座センサーが連続検知する状態になっている可能性があります。着座センサーに水滴や汚れが付着していると、着座センサーが連続検知する場合があります。汚れなどを取り除いてください。

こんなときは

勝手に作動する・勝手に止まる…おしり・やわらか・ビデ洗浄・温風乾燥(つづき)			
現 象	確認内容	確認結果(原因)	処 置
ノズルから勝手に水が出る	運転ランプが点滅していますか。	【点滅している場合】 「凍結予防」設定が「入」になっています。 (50, 51ページ)	「凍結予防」設定が「入」の場合、5分間隔でノズル付近から水が出ます。凍結のおそれがない場合は「凍結予防」を「切」にしてください。
	—	便座から立ち上がるとノズルが少し出た状態で水が約30秒出た後、戻ります。その後、温風吹出口カバーが開閉します。	—

勝手に作動する・勝手に止まる…便ふた・便座の開閉			
現 象	確認内容	確認結果(原因)	処 置
便ふたが勝手に開く	リモコン裏面のふた開閉に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】 リモコンの乾電池を交換すると、「オート開閉」の設定が「入」になることがあります。	オート開閉機能を「切」でお使いになりたい場合は、もう一度設定をやり直してください。 (46ページ)
	—	太陽光が直接センサーに当たるとセンサーが誤検知する場合があります。	太陽光が当たらないようにしてください。
	暖房器具を置いていませんか。	センサーの検知範囲内に暖房器具がある場合、熱でセンサーが誤検知し、便ふたが自動で開く場合があります。	人体検知センサーの範囲内に暖房器具を置かないでください。
	トイレのドアが開いていませんか。	トイレのドアが開いている場合に、トイレの前を通過する人を検知することがあります。	—
便ふたが勝手に閉まる	リモコン裏面のふた開閉に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】 「オート開閉」が「入」になっています。人体検知センサーBが検知しにくい状態になると、人がいるのに便ふたが閉まる場合があります。	人体検知センサーBに衣服がかかったりゴミや水滴などの汚れが付着していると、センサーが検知しない場合があります。人体検知センサーや着座センサーの位置を確認して汚れを取り除いてください。衣服を少し持ち上げ、人体検知センサーBに衣服がかからないようにしてお使いください。 (7ページ)
	—	服の色、布地によって人体検知センサーや着座センサーが検知しにくくなる場合があります。便座に深く腰掛けたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。	—

勝手に作動する・勝手に止まる…便器洗浄			
現 象	確認内容	確認結果(原因)	処 置
勝手に便器洗浄する・オート洗浄のタイミングが早い	リモコン裏面の流すに「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】 着座センサーが検知しにくい状態になると、使用中に便器洗浄する場合があります。	座っている途中に腰を浮かせたり、便座の前よりに座ると、一時的に着座センサーが検知しなくなる場合があります。便座には深く腰掛けてご使用ください。 着座センサーに衣服がかかったりゴミや水滴などの汚れが付着していると、着座センサーが検知しなくなります。また、服の色、布地によっても検知しにくくなる場合があります。おっっているものや汚れを取り除いてください。 (7ページ)
	—	【「●」が点灯している場合】 リモコンの乾電池を交換すると、「オート洗浄」の設定が「入」になる場合があります。	オート洗浄機能を「切」でお使いになりたい場合は、もう一度設定をやり直してください。 (46ページ)
	リモコン裏面のプレ洗浄に「●」が点灯していますか。	「オートプレ洗浄」の設定が「入」になっています。	「オートプレ洗浄」機能が「入」の場合、便座に座るとすぐに便器に水を流します。「オートプレ洗浄」をやめる場合は「切」に設定してください。 (23ページ)
	運転ランプが点滅していますか。	【点滅している場合】 「凍結予防」設定が「入」になっています。	「凍結予防」設定が「入」の場合、10分間隔で自動的に便器を洗浄します。凍結のおそれがない場合は「凍結予防」を「切」にしてください。 (50, 51ページ)

その他の事象			
現 象	確認内容	確認結果(原因)	処 置
汚物がきれいに流れない	便器洗浄の水の勢いが弱くありませんか。	止水栓が閉まっていますか。 給水フィルターが詰まっていますか。 トイレ以外で水を使うと給水圧が低下します。	止水栓を全開にしてください。 (15ページ) 給水フィルターを掃除してください。 (44, 45ページ) トイレ以外(お風呂の水栓など)の水の使用を止めてから、もう一度便器洗浄してください。
	—	便器に供給される水が少なくなっている可能性があります。 汚物の種類(柔らかい、軽い汚物など)によっては一度の洗浄では流れない場合があります。	止水栓が全開になっていない場合があります。 止水栓を全開にしてください。 給水フィルターが詰まっている場合があります。 給水フィルターを掃除してください。 (44, 45ページ) もう一度便器洗浄してください。
便器洗浄の水の流れが弱い。汚物が残ることがある。	タンク給水中(ウォシュレット本体表示部のランプ点滅中)に便器洗浄しませんでしたか。	タンク給水中(ウォシュレット本体表示部のランプ点滅中)は便器洗浄しても流れない場合があります。	ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプ・「便座」ランプ点灯状態になってから便器洗浄してください。 (22ページ)
	—	排水管の状況により排出性能に影響を与えている可能性があります。	下記手順により洗浄能力をアップさせることで、汚物の排出が改善されることがあります。 【切替手順】 ①ウォシュレット本体操作部の  スイッチを押して「切」にする →ウォシュレット本体表示部のランプが全て消灯します。 ②ウォシュレット本体操作部の  スイッチを10秒以上押し続ける →ピーツと音が鳴れば設定完了です。 ③ウォシュレット本体操作部の  スイッチを押して「入」にする ※元に戻すときは同じ操作を行い、ピーツと音が鳴れば設定完了です。
便器ボウル面に一部洗い残りがあ	—	使用するうちに便器ボウル面に油などの見えない汚れが付着している可能性があります。	トイレのクリーナー・陶器用またはトイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って便器ボウル面をそうじしてください。 (37ページ)
配管接続部から水漏れしている	接続部のナットがゆるんでいませんか。	—	モンキーレンチなどで緩んでいる箇所を増し締めしてください。 ※水漏れが止まらない場合は止水栓を閉めて、修理を依頼してください。 (64ページ)
操作していないのにファンの回る音がする(AH2のみ)	リモコン裏面の  に3(6または9)とタイマー室暖の設定時間が表示されますか。	【「●」が点灯している場合】 タイマー室内暖房機能が動いています。	毎日その時間に自動で室内暖房が作動します。 (27ページ)
	リモコン裏面の冷込防止に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】 室内暖房の冷込防止機能が動いています。	室温が約5℃以下になると自動で室内暖房が作動します。 (28ページ)
便座に座ると音がする	ウォシュレットから便器に水が流れる音が数秒しますか。	お湯を出す準備のためにノズルから数秒間水を流します。	便座に座ったり、着座中に体を動かした際にノズル付近から数秒間水が出るのは、お湯を出す準備のためで、異常ではありません。 (16ページ)
	水が流れる音がしますか。 リモコン裏面のプレ洗浄に「●」が点灯していますか。	【「●」が点灯している場合】 「オートプレ洗浄」の設定が「入」になっています。	「オートプレ洗浄」機能が「入」の場合、便座に座るとすぐに便器に水を流します。「オートプレ洗浄」をやめるときは「切」に設定してください。 (23ページ)
—	—	温風吹出口カバーを閉める音です。異常ではありません。	—
便座から立ち上がると脱臭の音が大きくなる	オートパワー脱臭が「入」になっていませんか。	オートパワー脱臭の作動音です。	— (47ページ)
温風吹出口カバーが閉じない	—	温風吹出口カバーを手で開けると、最後まで閉まらないことがあります。	①  を押す ●温風吹出口カバーが閉まり、ノズルが出てきます。 ②もう一度  を押す ●ノズルが元に戻ります。

アフターサービス

修理を依頼する前に「故障かな!?と思ったら」の項をご確認ください。

●保証書（裏表紙に記載してあります。）

- この説明書は保証書付です。必ず「お取付店名、お取付日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お取付日から便器部は2カ年、ウォシュレット部は1カ年です。

●補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後ウォシュレット部6年、便器部10年となります。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●部品交換について

- 無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO（株）の所有となります。

●保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めのお取付店、販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

●延長保証制度について（保証料3,000円（税込））

- 申込受付期間は、ご使用開始日から1年間です。
- 通常、ウォシュレット部1カ年・便器部2カ年の保証が、ウォシュレット部・便器部ともに5カ年の保証になります。同梱の申込はがきに必要な事項を記入し、投函してください。詳細は、同梱のご案内チラシをご確認ください。
- 一般家庭以外（事務所・店舗・病院など不特定多数の方が使用される場所）でのご使用の場合は、保証対象外のためお申込みできません。
- 修理はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターで実施した場合に限らせていただきます。
- 修理の際に延長保証書の提示がない場合は、有料修理となります。

定期点検のおすすめ

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。（水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。）
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼ください。

お問い合わせ先

TOTOメンテナンス（株）修理受付センター

TEL ☎0120-1010-05

FAX ☎0120-1010-02

受付：年中無休／受付時間 関東・甲信越地区 8:00～20:00
上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）／営業時間 9:00～18:00

修理料金のしくみ【TOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼の場合】

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
修理に使用した部品代です。
診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めのお取付店、販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名
品番（TCF・・・）
※便ふたの裏をご覧ください。
お取付日
※裏表紙の保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取り扱い】

お客様からお預りした個人情報は関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳しくはTOTOホームページ
<http://www.toto.co.jp/> をご覧ください。

仕様

項目		AH1	AH2
定 格 電 源		交流100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力 （ヒータ付便器の場合）		1286W (1326W)	1381W (1421W)
区 分 ※1		瞬間式	
年 間 消 費 電 力 量 ※2		133kWh/年（175kWh/年）※3	
電 源 コー ド 長 さ		1.0m（漏電保護プラグ、アース線付）	
便 器 洗 浄 水 量		大5.5L、小4.5L（男子小オート洗浄時は4.0L）	
給 水 方 式		水道直結式／タンク貯水ポンプ加圧併用	
洗 浄 方 式		トルネード洗浄（サイホン式）	
サ イ ズ		エロンゲート	
機 能	流動方式	流動水量	32.4L/h
	ヒータ付 便器方式	ヒータ容量 安全装置 電源コード長さ	40W 温度ヒューズ 1.1m（コンセント付）
ウ ォ シ ュ レ ッ ト 機 能	洗浄装置	おしり洗浄	約0.27～0.43L/min（水压0.2MPaのとき）
		吐水量	約0.27～0.43L/min（水压0.2MPaのとき）
		ビデ洗浄	約0.29～0.43L/min（水压0.2MPaのとき）
	吐水温度	温度調節範囲	約30～40℃
		ヒータ容量	1200W
	安全装置		温度ヒューズ、温度過昇防止器（自動復帰式バイメタル）、空焚き防止フロートスイッチ
	温風乾燥 装置	温度調節範囲	約40～59℃
		風 量	0.30m³/min
	暖房便座	ヒータ容量	350W
		安全装置	温度ヒューズ
機 能	脱臭装置	表面温度	温度調節範囲 約28～36℃（おまかせ節電時約26℃・スーパーおまかせ節電時 切）
		ヒータ容量	50W
	室内暖房 装置 （AH2のみ）	安全装置	温度ヒューズ
		方 式	O ₂ 脱臭
	暖房能力	風 量	標準モード:0.09m³/min パワーモード:0.16m³/min
		ヒータ容量	—
製 品 質 量	給 水 圧 力	最低必要水压:0.05MPa（流動圧）	最高水压:0.75MPa（静水压）
		給 水 温 度	0～35℃
	周 囲 使 用 温 度	0～40℃	0～40℃
		幅389mm、奥行695mm、高さ547mm	
製 品 質 量	42kg		42.6kg
	（ウォシュレット部7.9kg、便器部34.1kg）		（ウォシュレット部8.5kg、便器部34.1kg）

※1 省エネ法（2012年度基準）の区分

※2 省エネ法（2012年度基準）に基づいた測定値（ ）内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

※3 省エネ法（2012年度基準）達成率101%

※4 温風吹出口付近における当社測定点の温度

※この製品は、日本国内専用製品です。

抗 菌（※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接触れないと発揮されません。）

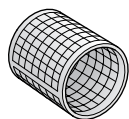
抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z 2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z 2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。		抗菌剤の種類	便器部:無機系（酸化亜鉛など） ウォシュレット部:無機系（銀）
	抗菌加工・抗菌加工部位は、下表の通りです。		抗菌性持続性	（社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
抗菌加工部位	便器タイプ	抗菌加工	安全性	（社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
	セフィオンテクト	便器部 ○ ウォシュレット部 ○	禁止事項	ウォシュレット部:酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱い注意事項				抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

交換部品／別売品

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

交換部品

● 給水フィルター



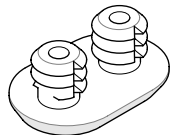
品番	66435R
希望小売価格	¥200 (税込¥210)

● 給水フィルター付水抜栓



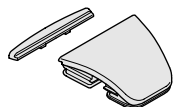
品番	D43495Z
希望小売価格	¥460 (税込¥483)

● 便座クッション



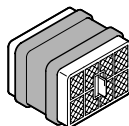
品番	D42180
希望小売価格	¥55 (税込¥58)

● 便ふたクッション



品番	D42192Z
希望小売価格	¥200 (税込¥210)

● 脱臭カートリッジ



品番	TCA104-2R
希望小売価格	¥1,250 (税込¥1,313)

別売品

● ウォシュレットクリーナー



キラリあ

品番	ENL500
希望小売価格	¥1,000 (税込¥1,050)
容量	185ml

● トイレのクリーナー

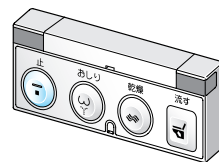


陶器用

品番	ENL400
希望小売価格	¥800 (税込¥840)
容量	150ml

● らくらくリモコン

※スティックリモコンとの併設が必要です。



品番	TCA53
希望小売価格	¥8,500 (税込¥8,925)
寸法	幅220mm 奥行25mm 高さ84mm

● クッション

※便ふたが窓枠・壁などに当たる場合、当り音軽減のためのクッションを用意しています。

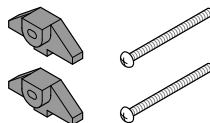


取付説明書付

品番	D65059ZR
希望小売価格	¥150 (税込¥158)

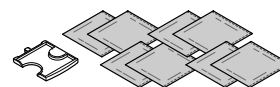
● リモコン盗難防止用部品 (取扱説明書付)

不特定多数の方が使用されるトイレでは、盗難防止用部品のお取り付けをおすすめします。



品番	D42121ZR
希望小売価格	¥380 (税込¥399)

● フレグランスセット



希望小売価格	¥1,800 (税込¥1,890)
--------	-------------------

野ばら

品番	TCA110
セット内容	フレグランスオイルシート... 8枚 トレー... 1個

古都

品番	TCA112
セット内容	フレグランスオイルシート... 8枚 トレー... 1個

野ばら・真綿・古都・風鈴 (各2枚)

品番	TCA114
セット内容	フレグランスオイルシート... 8枚 トレー... 1個

真綿

品番	TCA111
セット内容	フレグランスオイルシート... 8枚 トレー... 1個

風鈴

品番	TCA113
セット内容	フレグランスオイルシート... 8枚 トレー... 1個

温水洗浄便座 重大事故防止のためのお願い

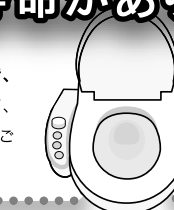
故障したままでは使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気づいたら、電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

**温水洗浄便座は
電気製品で
寿命があります**

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。



安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング現象で火災の原因になります。

故障したままでは使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

温水洗浄便座協議会 <http://www.sanitary-net.com> 0120-39-7718 後援 経済産業省

商品のお問い合わせは
TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010
FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

交換部品/別売品のご購入は
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55
FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)